

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	子ども未来部	課	保育課	係	保育政策係
担当者	栗林 香歩		直通	25-5028	内線	8252

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	①1. 保育所等教職員の資質向上 ①3. 保育所等と小学校との連携強化
②事業No. 事業名	139.141. 認定こども園・保育所(園)・幼稚園の職員の資質向上事業 認定こども園・保育所(園)・幼稚園の教育・保育内容充実事業				事業実施期間	R3 ~ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率
⑤広域連携の取組						

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

保育所、認定こども園、幼稚園職員の資質向上を図るため、各種研修を行います。また、専門知識を持つ講師を招いての研修を実施するとともに、各機関との連携を強化することで、保育・教育の質のさらなる向上を目指します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	研修の実施	140,000	研修回数 50回以上	
	実績	おもろイズム研修1回、年齢研修2回、危機管理研修1回、リーダー研修1回、救急救命研修8回、人権研修9回、保幼小接続研修1回、ほか研修39回	130,000	研修回数 62回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		20 %	
R4	計画	研修の実施	140,000	研修回数 50回以上	
	実績	職員全体研修1回、おもろイズム研修1回、年齢研修2回、危機管理研修1回、主任保育士研修1回、危機管理研修1回、保幼小接続研修1回、ほか研修63回	140,000	研修回数 71回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		40 %	
R5	計画	研修の実施	未定	研修回数 50回以上	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%	
R6	計画	研修の実施	未定	研修回数 50回以上	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%	
R7	計画	研修の実施	未定	研修回数 50回以上	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 研修の実施回数を活動指標とします。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	研修の延べ参加人数	900名以上
R3	実績 研修の延べ参加人数 (おもろイズム研修21名、年齢研修82名、危機管理研修16名、リーダー研修25名、救急救命研修170名、人権研修287名、保幼小接続研修27名、ほか研修396名)	1,024名
R4	実績 研修の延べ参加人数 (職員全体研修42名、おもろイズム研修24名、年齢研修90名、主任保育士研修15名、危機管理研修17名、保幼小接続研修15名、ほか研修826名)	1,029名
R5	実績 研修の延べ参加人数	
R6	実績 研修の延べ参加人数	
R7	実績 研修の延べ参加人数	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	職員の資質向上のために実施する研修に多くの職員が参加することで、保育・教育の質のさらなる向上が図られるため、研修の延べ参加人数を成果指標とします。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	教育総務課、学校教育課	係	総務係（教育総務課）/指導係（学校教育課）
担当者	古川	大地/松岡	理絵	直通	25-5052/25-6786	内線 3712/3733

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	①2. 幼児教育総合センター機能の強化		
②事業No.事業名	I40.幼児教育総合センターの機能強化				事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率		府補助率	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

・亀岡市の公立園の園種間をこえ、未就園児機関が共に保育幼児教育推進のための学びあいの場をつくる。
 ・保幼小接続を意識した、小学校との交流と、公開保育研修会を実施する。

⑧活動指標（アウトプット指標）

		取組	事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	公開保育の開催、研究会・研修会の開催、幼小接続をテーマにした研究会の開催 発達支援に関する研修会の開催、幼児発達支援教室の実施	35千(円)	年40回
	実績	公開保育の開催、研究会・研修会の開催、幼小接続をテーマにした研究会の開催 発達支援に関する研修会の開催、幼児発達支援教室の実施	35千(円)	年36回
	達成度			90 %
	達成度（R3年度～R7年度累積）			18 %
R4	計画	公開保育の開催、研究会・研修会の開催、幼小接続をテーマにした研究会の開催 発達支援に関する研修会の開催	35千(円)	年40回
	実績	公開保育の開催、研究会・研修会の開催、幼小接続をテーマにした研究会の開催 発達支援に関する研修会の開催	35千(円)	年35回
	達成度			88 %
	達成度（R3年度～R7年度累積）			35.6 %
R5	計画	公開保育の開催、研究会・研修会の開催、幼小接続をテーマにした研究会の開催 発達支援に関する研修会の開催	35千(円)	年40回
	実績			
	達成度			%
	達成度（R3年度～R7年度累積）			%
R6	計画	公開保育の開催、研究会・研修会の開催、幼小接続をテーマにした研究会の開催 発達支援に関する研修会の開催		年40回
	実績			
	達成度			%
	達成度（R3年度～R7年度累積）			%
R7	計画	公開保育の開催、研究会・研修会の開催、幼小接続をテーマにした研究会の開催 発達支援に関する研修会の開催		年40回
	実績			
	達成度			%
	達成度（R3年度～R7年度累積）			%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方
 保育幼児教育推進に係る研究会・研修会、発達支援教育に係る研修会・教室の開催を、毎年度40回開催することを定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果) 指標値
期間を通じた目標	①研究会・研修会への参加者数 ②参加者アンケート結果による「参考になった」の割合	①400人以上 ②90%
R3	実績 公開保育の開催、研究会・研修会の開催、幼小接続をテーマにした研究会の開催 発達支援に関する研修会の開催、幼児発達支援教室の実施	①465人 ②100%
R4	実績 公開保育の開催、研究会・研修会の開催、幼小接続をテーマにした研究会の開催 発達支援に関する研修会の開催、幼児発達支援教室の実施	①547人 ②100%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの教職員に研究会・研修会へ参加していただくことが必要であり、かつ、参加者の当該事業に対する理解度、満足度が高くなければならないと考え、参加者の人数とアンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	松岡 理絵		直通	25-6786	内線	3732

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	13. 保育所等と小学校との連携強化				
②事業No.事業名	142.保育所等と小学校との連携の推進				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	—	府補助率	100%			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

幼児教育の質の向上や円滑な幼小接続の推進を図るため、各幼児教育施設と小学校が連携・協働し、小学校就学前後の姿について共通認識を形成することにより、施設種・設置者を越えた幼小接続期の教育・保育の質の向上に向けた協働体制を構築する。

⑧活動指標（アウトプット指標）

		取組	事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	「公立小学校と幼児教育施設との協働による幼小接続推進事業」の実施 《府教委委託事業》	110,000	年1回以上の連携協議の実施
	実績	「公立小学校と幼児教育施設との協働による幼小接続推進事業」の実施 《府教委委託事業》	78,118	年1回以上の連携協議の実施
	達成度			100 %
	達成度（R3年度～R7年度累積）			20 %
R4	計画	「公立小学校と幼児教育施設との協働による幼小接続推進事業」の実施 《府教委委託事業》	112,000	年1回以上の連携協議の実施
	実績	「公立小学校と幼児教育施設との協働による幼小接続推進事業」の実施 《府教委委託事業》	77,000	年1回以上の連携協議の実施
	達成度			100 %
	達成度（R3年度～R7年度累積）			40 %
R5	計画	同一の小学校（義務教育学校前期課程含む）に入学する園児が通う幼児教育施設の保育者と小学校教員との協働による交流事業等の実施	—	年1回以上の連携協議の実施
	実績			
	達成度			%
	達成度（R3年度～R7年度累積）			%
R6	計画	同一の小学校（義務教育学校前期課程含む）に入学する園児が通う幼児教育施設の保育者と小学校教員との協働による交流事業等の実施	—	年1回以上の連携協議の実施
	実績			
	達成度			%
	達成度（R3年度～R7年度累積）			%
R7	計画	同一の小学校（義務教育学校前期課程含む）に入学する園児が通う幼児教育施設の保育者と小学校教員との協働による交流事業等の実施	—	年1回以上の連携協議の実施
	実績			
	達成度			%
	達成度（R3年度～R7年度累積）			%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	上記事業の実施を指標とする。
------------------------	----------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果) 指標値
期間を通じた目標	小接続期カリキュラムの作成・実施・改善し、幼児教育の質の向上や円滑や幼少接続の推進を図る。	接続期カリキュラムの改善を行った学校の割合 100%
R3	実績 幼小接続期カリキュラムの作成・実施・改善し、幼児教育の質の向上や円滑や幼少接続の推進を図ることができた。	接続期カリキュラムの改善を行った学校の割合 - %
R4	実績 幼小接続期カリキュラムの作成・実施・改善し、幼児教育の質の向上や円滑や幼少接続の推進を図ることができた。	接続期カリキュラムの改善を行った学校の割合 44.4%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	活動指標の事業効果を成果指標とする。
-----------------------	--------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	(R4) 【⑧活動指標（アウトプット指標）「取組内容計画」R5以降の変更について】府教委委託事業は令和4年度で終了したが、以降も同様の取組を継続する。
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	教育総務課	係	総務係
担当者	野木 彰彦			25-5052	内線	3712

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	②4.学校規模適正化の推進				
②事業No.事業名	143.学校規模適正化事業				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

学校規模適正化基本方針に基づき、中学校区単位を基本に学校規模の適正化を推進します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	別院中学校ブロック、育親中学校ブロック、亀岡中学校ブロックにおける協議会及び説明会の開催等により地域住民・PTA等への学校規模適正化事業の周知を図る。想定回数 別院中：協議会2回、説明会4回 育親中：協議会2回、説明会3回 亀岡中：協議会1回、説明会2回	-	協議会開催回数 5回 説明会開催回数 14回
	実績	亀岡市学校規模適正化地域別推進協議会1回、別院中学校ブロック協議会3回、別院中学校ブロック説明会5回、育親中学校ブロック協議会3回、育親中学校ブロック説明会12回	-	協議会開催回数 6回 説明会開催回数 17回
			達成度	100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	20 %	
R4	計画	別院中学校ブロック、育親中学校ブロック、亀岡中学校ブロックにおける協議会及び説明会の開催等により地域住民・PTA等への学校規模適正化事業の周知を図る。想定回数 別院中：協議会2回、説明会2回 育親中：協議会3回、説明会12回 亀岡中：協議会1回、説明会2回	-	協議会開催回数6回 説明会開催回数16回
	実績	亀岡市学校規模適正化地域別推進協議会1回、別院中学校ブロック協議会1回、育親中学校ブロック協議会6回、育親中学校ブロック説明会7回、育親中学校ブロック広報紙の配布4回	-	協議会開催回数7回 説明会開催回数7回 広報紙の配布4回
			達成度	100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	40 %	
R5	計画	育親中学校ブロック、亀岡中学校ブロックにおける協議会及び説明会の開催等により地域住民・PTA等への学校規模適正化事業の周知を図る。想定回数 育親中：協議会3回、説明会12回 亀岡中：協議会1回、説明会2回	-	協議会開催回数 4回 説明会開催回数 14回
	実績		-	
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%	
R6	計画	育親中学校ブロック、亀岡中学校ブロックにおける協議会及び説明会の開催等により地域住民・PTA等への学校規模適正化事業の周知を図る。想定回数 育親中：協議会2回、説明会8回 亀岡中：協議会1回、説明会2回	-	協議会開催回数 3回 説明会開催回数 10回
	実績		-	
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%	
R7	計画	育親中学校ブロック、亀岡中学校ブロックにおける協議会及び説明会の開催等により地域住民・PTA等への学校規模適正化事業の周知を図る。想定回数 育親中：協議会2回、説明会8回 亀岡中：協議会1回、説明会2回	-	協議会開催回数 3回 説明会開催回数 10回
	実績		-	
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 定量的な活動指標として各ブロック協議会や説明会の開催回数を指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	学校規模適正化に関する地域住民や保護者の理解を得られるよう説明会を開催し、学校規模適正化の取組を推進する。	説明会参加者数目標値20人/回（平均） また、説明会以外の広報にも取り組む
R3	実績 別院中学校ブロック:別院中学校の南桑中学校への編入決定、編入に向けた準備 育親中学校ブロック:学校規模適正化の方向性の決定	説明会参加数 別院中学校ブロック 16人(81人/5回) 育親中学校ブロック 15人(176人/12回)
R4	実績 別院中学校ブロック:別院中学校の南桑中学校への編入に向けた準備 育親中学校ブロック:育親学園の開校について決定	説明会参加数 育親中学校ブロック 21人(145人/7回) 広報紙を作成し、対象地域の住民に全戸配布した。(4回)
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、説明会等を開催するだけでなく、より多くの人に参加していただくことが必要であり、参加者の当該事業に対する理解度が高くならなければならないと考えるため、説明会参加人数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R4)説明会に多くの方が参加できるよう、事前に丁寧な周知を行った。 また、説明会に来れない方やより多くの住民への周知のため、広報紙を作成し、対象地域に全戸配布として周知を図った。
進行上の課題や問題点	(R4)時間の都合上、説明会に参加できない方への対応が課題であったが、全住民を対象とした広報紙の作成・配布により、一定の課題解決が図れた。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	教育総務課	係	施設係
担当者	小寺 風輝		直通	0771-25-6766	内線	3715

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	[2]5.老朽化した学校校舎の長寿命化・トイレの洋式化				
②事業No.事業名	144.長寿命化改良等整備事業				事業実施期間	R3		～	R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	補助		国補助率	1/3		府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

子どもたちが気持ちよく、安全・安心な環境で学ぶことができるように、校舎の長寿命化や大規模改修及びトイレの洋式化を推進します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	大井小学校校舎大規模改修工事(Ⅰ期)、詳徳小学校校舎大規模改修工事(Ⅰ期)、南つつじヶ丘小学校トイレ大規模改修工事(Ⅰ期)、大成中学校トイレ大規模改修工事実施設計業務委託の実施	437,000,000	教育施設整備
	実績	大井小学校校舎大規模改修工事(Ⅰ期)、詳徳小学校校舎大規模改修工事(Ⅰ期)、南つつじヶ丘小学校トイレ大規模改修工事(Ⅰ期)、大成中学校トイレ大規模改修工事実施設計業務委託	396,950,400	教育施設整備
	達成度		達成度(R3年度～R7年度累積)	
R4	計画	大井小学校校舎大規模改修工事(Ⅱ期)、詳徳小学校校舎大規模改修工事(Ⅱ期)、南つつじヶ丘小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)、大成中学校トイレ大規模改修工事(Ⅰ期)、城西小学校校舎長寿命化改修工事実施設計業務委託の実施	707,608,000	教育施設整備
	実績	大井小学校校舎大規模改修工事(Ⅱ期)、詳徳小学校校舎大規模改修工事(Ⅱ期)、南つつじヶ丘小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)、大成中学校トイレ大規模改修工事(Ⅰ期)、城西小学校校舎長寿命化改修工事実施設計業務委託	657,740,820	教育施設整備
	達成度		達成度(R3年度～R7年度累積)	
R5	計画	大成中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)、城西小学校校舎長寿命化改修工事(Ⅰ期)、南桑中学校トイレ大規模改修工事実施設計業務委託、保津小学校校舎長寿命化改修工事実施設計業務委託の実施	427,614,000	教育施設整備
	実績			
	達成度		達成度(R3年度～R7年度累積)	
R6	計画	城西小学校校舎長寿命化改修工事(Ⅱ期)、南桑中学校トイレ大規模改修工事(Ⅰ期)、保津小学校校舎長寿命化改修工事(Ⅰ期)、東輝中学校校舎長寿命化改修工事実施設計業務委託、大成中学校屋内運動場大規模改修工事実施設計業務委託の実施	961,129,000	教育施設整備
	実績			
	達成度		達成度(R3年度～R7年度累積)	
R7	計画	南桑中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)、保津小学校校舎長寿命化改修工事(Ⅱ期)、東輝中学校校舎長寿命化改修工事(Ⅰ期)、大成中学校屋内運動場大規模改修工事(Ⅰ期)、つつじヶ丘小学校校舎長寿命化改修工事実施設計業務委託の実施	874,923,000	教育施設整備
	実績			
	達成度		達成度(R3年度～R7年度累積)	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 教育施設整備として、亀岡市学校施設長寿命化計画に基づいた施設の改修及び老朽化しているトイレの洋式化工事を進めていきます。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	亀岡市学校施設長寿命化計画に基づき、校舎・体育館・トイレの改修を進める。	工事 16/16 設計業務委託 7/7
R3	実績 大井小学校校舎大規模改修工事（Ⅰ期）、詳徳小学校校舎大規模改修工事（Ⅰ期）、南つづじヶ丘小学校トイレ大規模改修工事（Ⅰ期）、大成中学校トイレ大規模改修工事実施設計業務委託	工事 3/16 設計業務委託 1/7
R4	実績 大井小学校校舎大規模改修工事（Ⅱ期）、詳徳小学校校舎大規模改修工事（Ⅱ期）、南つづじヶ丘小学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）、大成中学校トイレ大規模改修工事（Ⅰ期）、城西小学校校舎長寿命化改修工事実施設計業務委託	工事 7/16 設計業務委託 2/7
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	亀岡市学校施設長寿命化計画等に基づき予定通り進めることができているか確認するため、工事及び設計業務委託の実施数を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	みらい教育リサーチセンター	係	まなびプロモーション係
担当者	山内久美子・広瀬 一弥・野々垣 吉輝		直通	26-3916	内線	

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	②6. 遠隔・ICT学習環境や教材備品の整備①				
②事業No.事業名	I45.ICT機器を活用した教育の推進事業				事業実施期間	R3 ~ R7				
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-		府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

遠隔・ICT学習環境など教育の情報化を進めるため、インターネット環境及びタブレットの整備を推進する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備	30,015,500	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	実績	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備	29,335,350	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	達成度			100 %
達成度(R3年度～R7年度累積)			20 %	
R4	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備	73,400,000	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	実績	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備	70,595,239	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	達成度			100 %
達成度(R3年度～R7年度累積)			40 %	
R5	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備、英語学習等の配信について関係課との協議・検討	74,400,000	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	実績			
	達成度			%
達成度(R3年度～R7年度累積)			%	
R6	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備、英語学習等の配信に係る関係課との連携・支援	70,700,000	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	実績			
	達成度			%
達成度(R3年度～R7年度累積)			%	
R7	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備、英語学習等の配信に係る関係課との連携・支援	70,900,000	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	実績			
	達成度			%
達成度(R3年度～R7年度累積)			%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	ICT教育に必要なインターネット環境を整備すべき学校及び活用する児童数に対する整備・配備等の割合。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	①小学校におけるタブレットの活用率(毎日利用) ②中学校におけるタブレットの活用率(毎日利用)	①100% ②100%
R3	実績 ①小学校におけるタブレットの活用率(毎日利用) ②中学校におけるタブレットの活用率(毎日利用)	①56% ②58%
R4	実績 ①小学校におけるタブレットの活用率(毎日利用) ②中学校におけるタブレットの活用率(毎日利用)	①56% ②92%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		100%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	ICT機器を活用した教育の推進を図るため、すべての児童生徒にインターネット及びタブレットの活用が可能な環境の整備を進めてきた。その環境を活かしたタブレットの活用状況を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)インターネット環境の整備にあたっては順次計画的に整備を行い、タブレットの配備状況や今後の配備計画等を検討する中で、円滑な配備を行うことができた。 (R4)タブレットの活用推進を図るため、ICT教育の推進に向けた研修の実施やICT支援員の配置を実施することで、活用しやすい環境づくりを進めた。また、活用状況を見るなかで、活用の推進に係る取り組みの充実を図った。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	教育総務課	係	施設係
担当者	川並 大悟		直通	25-6766	内線	3714

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	②4.遠隔・ICT学習環境や教材備品の整備②				
②事業No.事業名		146.学校配分予算を中心とした計画的な備品の整備			事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続		継続	④事業区分	補助事業	国補助率	1/2	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

子どもたちの確かな学力の育成を図るため、新学習指導要領に対応した学校教材の安定的な整備を図ります。また文部科学省において、令和2年度から10カ年間の積極的な地方財政措置が示された中、本市においても重点的に整備を行います。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	充実した教育活動を実施するための教材備品整備率の向上	25,813,000	指針に基づく教材備品整備率100%	
	実績	充実した教育活動を実施するための教材備品の整備	31,496,981	指針に基づく教材備品整備率100%	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	充実した教育活動を実施するための教材備品整備率の向上	29,510,000	指針に基づく教材備品整備率100%	
	実績	充実した教育活動を実施するための教材備品の整備	22,307,484	指針に基づく教材備品整備率100%	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %	
R5	計画	充実した教育活動を実施するための教材備品整備率の向上	20,686,000	指針に基づく教材備品整備率100%	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	充実した教育活動を実施するための教材備品整備率の向上		指針に基づく教材備品整備率100%	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	充実した教育活動を実施するための教材備品整備率の向上		指針に基づく教材備品整備率100%	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

毎年度、各小、中、義務教育学校における備品の整備状況を把握し、それらを文部科学省が示す教材整備指針と照らし合わせ、教材備品整備率を算出し、定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	全小・中・義務教育学校における新たな教材備品を使用した授業の実施	小学校17校 中学校7校 義務教育学校1校
R3	実績 全小・中・義務教育学校における新たな教材備品を使用した授業の実施	小学校17校 中学校7校 義務教育学校1校
R4	実績 全小・中・義務教育学校における新たな教材備品を使用した授業の実施	小学校17校 中学校7校 義務教育学校1校
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	教材備品整備率を向上させ、すべての学校において充実した教育活動の実施を定量的な成果指針とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	図書館	係	
担当者	山本 美幸		直通	24-4710	内線	

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	②7. 学校図書館の充実への支援				
②事業No.事業名	147. 司書派遣				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

調べ学習のための学校への団体貸出や学校図書館への配本、学校への司書派遣を行い市立図書館と学校図書館との連携を深め学校図書館運営支援を行い子どもの読書環境の充実を図り、子どもたちへ質の高い教育を与える機会を作る。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	学校への司書派遣		定期派遣6校 巡回派遣6校	
	実績	学校への司書派遣		定期派遣6校 巡回派遣6校	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			20 %
R4	計画	学校への司書派遣		定期派遣3校 巡回派遣	
	実績	学校への司書派遣		定期派遣3校	
		達成度			50 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			30 %
R5	計画	学校への司書派遣		定期派遣3校 巡回派遣	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	学校への司書派遣		定期派遣3校 巡回派遣	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	学校への司書派遣		定期派遣3校 巡回派遣	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 令和4年度からは、学校司書3名が配置されたことにより、定期派遣は3校となり、巡回派遣については各校からの依頼に応じて派遣することとする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	定期的な学校への司書派遣	定期派遣 3校 120回
R3	実績 学校への司書派遣	定期派遣 6校 130回 巡回派遣 6校 20回
R4	実績 学校への司書派遣	定期派遣 3校 129回
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		定期派遣 3校 120回

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	学校へ専任の司書の配置、学校図書館の蔵書の充実
-----------------------	-------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)学校との連携を深めることにより、子どもの読書への関心と理解を深めることにつながった。
進行上の課題や問題点	(R3) 定期的な司書派遣を行い、学校との連携を深め、学校の要望を応えることに務めたが、学校のカリキュラムが同じ時期に同じ図書が重なり、要望に応えることができない。 令和4年度から学校司書が3名配置されているため、定期派遣は3校のみとなっている。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	教育総務課	係	施設係
担当者	川並 大悟			25-6766	内線	3714

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	②7. 学校図書館の充実への支援					
②事業No.事業名		148.学校配分予算による計画的な図書整備			事業実施期間	R3	～	R7			
③新規・継続		継続	④事業区分		単独事業	国補助率		府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)											

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

文部科学省において、新たに令和4年度から第6次「学校図書館図書整備等5カ年計画」が策定されたことに伴い、積極的な地方財政措置が行われる中、本市においても今日までの重点的な取組を継続し、児童生徒における読書機会の積極的な提供を図るため、学校図書蔵書の増加させることをはじめ更に内容を充実し、蔵書冊数の学校図書館図書標準の達成を目指します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	学校図書の適正管理	5,129,000	学校図書の適正管理	
	実績	学校図書の適正管理	5,179,438	学校図書の適正管理	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	学校図書の適正管理	5,129,000	学校図書の適正管理	
	実績	学校図書の適正管理	5,119,369	学校図書の適正管理	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %	
R5	計画	学校図書の適正管理		学校図書の適正管理	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	学校図書の適正管理		学校図書の適正管理	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	学校図書の適正管理		学校図書の適正管理	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	毎年度、学校図書の適正な管理を行うため、充実した予算確保をし、それを定量的な活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	学校図書館の蔵書充実	学校図書館図書標準100%
R3	実績 学校図書館の蔵書充実	学校図書館図書標準 小学校 88.0% 中学校 87.6%
R4	実績 学校図書館の蔵書充実	学校図書館図書標準 小学校 93.2% 中学校 86.7%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	学校図書館の蔵書充実を図るためには、毎年度、各学校の蔵書数の管理及び把握が必要であり、それらを文部科学省が示している学校図書館図書標準指針に照らし合わせ、定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育委員会	課	学校給食センター	係	学校給食センター
担当者		大西正明	直通	24-3833	内線	

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	[2]8. 安全・安心で美味しい小学校給食の提供				
②事業No.事業名	149.学校給食管理事業、給食提供事業				事業実施期間	R3	~	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

- ・市内17小学校及び義務教育学校(前期課程)の学校給食業務(副食の提供)を行います。
- ・安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食センターにおける給食調理・配送・食器や食缶類の洗浄・消毒を確実にしています。
- ・地場産物の活用、亀岡産京野菜を利用する等「安全・安心で美味しい給食」の提供を行います。
- ・学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新・整備を行います。
- ・食中毒事故等ゼロを継続します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組		事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	①地場産物を活用した「安全・安心で美味しい給食」の提供 ②学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新・整備	①給食の提供 ②設備・機器の計画的更新	
	実績	①地場産物の活用、亀岡産京野菜を利用する等「安全・安心で美味しい給食」の提供をした。 地場産品: 亀岡産キヌヒカリ100%、亀岡産野菜27.7%使用 ②厨房機器等の適切な管理を行い、効率的かつ効果的な更新・整備計画に取り組んだ。	①年間給食185日提供 ②設備・機器の計画的更新	
		達成度		100 %
		達成度(R3年度~R7年度累積)		20 %
R4	計画	①地場産物を活用した「安全・安心で美味しい給食」の提供 ②学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新・整備	①給食の提供 ②設備・機器の計画的更新	
	実績	①地場産物の活用、亀岡産京野菜を利用する等「安全・安心で美味しい給食」の提供をした。 地場産品: 亀岡産キヌヒカリ100%、亀岡産野菜16.2%使用 ②厨房機器等の適切な管理を行い、効率的かつ効果的な更新・整備計画に取り組んだ。	①年間給食187日提供 ②設備・機器の計画的更新	
		達成度		100 %
		達成度(R3年度~R7年度累積)		40 %
R5	計画	①地場産物を活用した「安全・安心で美味しい給食」の提供 ②学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新・整備	①給食の提供 ②設備・機器の計画的更新	
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%
R6	計画			
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%
R7	計画			
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	学校給食においては、年間を通じて給食(副食の提供)を安定して提供する必要があるのであるため。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	食中毒等の事故件数	食中毒等の事故件数 0件
R3	実績 食中毒等の事故件数	食中毒等の事故件数 0件
R4	実績 食中毒等の事故件数	食中毒等の事故件数 0件
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	学校給食においては、安全・安心な給食を提供する必要があるため。
-----------------------	---------------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	【令和3年度】バコテンヒーター修繕・グランドケトル修繕（2機）等を実施しました。 【令和4年度】ボイラー取替修繕・カッターミキサー取替修繕等を実施しました。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者	石田 和久			25-5053	内線	3733

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	②9. 安心して食せる中学校昼食の充実			
②事業No.事業名	150.中学校選択制デリバリー弁当(昼食提供)事業				事業実施期間	R3	～	R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

中学生が心身の健康を増進する健全な食生活を実践するためには、家庭、学校、地域が連携して食育の推進に取り組んでいく必要があります。このため、子どもたちに栄養バランスの摂れた食生活を考える機会を提供するとともに、保護者の負担軽減を図ります。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施	335,250円	年1回
	実績	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施	294,700円	年1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施	338,750円	年1回
	実績	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施	256,280円	年1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施		年1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施		年1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施		年1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	毎年度、5月～6月に開催することとしている全中学校1年生を対象とするデリバリー弁当無料試食会の開催実績を、定量的な活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	①1日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	①120食 ②80%
R3	実績 ①1日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	①61.3食 ②57.7%
R4	実績 ①1日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	①82.7食 ②50.5%
R5	実績 ①1日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	
R6	実績 ①1日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	
R7	実績 ①1日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの生徒にデリバリー弁当を注文していただくことが必要であり、かつ、生徒のデリバリー弁当に対する認知度が高くなければならないと考え、試食会を実施し、その際のアンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	<p>【R4行政評価】 (理事者)デリバリー弁当を導入していつ目的バランスの取れた満足感のある食事を提供するという意味において、現状、十分に役割を果たせていると考える。また、保護者にデリバリー弁当を食べてもらう機会を設けるとよいのではないかと。 (進行管理部会) 事業目的が達成されていることが伝わるような成果指標を再検討されるとよい。 (担当課所管) 一つの目標であるバランスの取れた食事の提供は一定達成されているが、今後についても保護者負担の軽減という目的のために保護者にアプローチできるよう取り組んでいきたい。</p>

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者	石田 和久			25-5053	内線	3733

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	㊦29. 安心して食せる中学校昼食の充実		
②事業No.事業名	151.学校給食の実施についての調査・研究				事業実施期間	R4	～	R7
③新規・継続	新規	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

中学生が心身の健康を増進する健全な食生活を実践するためには、家庭、学校、地域が連携して食育の推進に取り組んでいく必要があります。このため、子どもたちに栄養バランスの摂れた食生活を考える機会を提供するとともに、保護者の負担軽減を図ります。

⑧活動指標（アウトプット指標）

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画			
	実績		達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R4	計画	中学校給食に関するアンケートの実施	-	年1回
	実績	中学校給食に関するアンケートの実施	-	年1回
			達成度	100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	40 %	
R5	計画	中学校給食実施に向けた関係機関会議の実施	-	年1回
	実績		達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R6	計画	中学校給食実施に向けた関係機関会議の実施	-	年1回
	実績		達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R7	計画	中学校給食実施に向けた関係機関会議の実施	-	年1回
	実績		達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方

上記事業の実施を指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	中学校給食実施に係る実施方法等の方針を策定する。	方針の策定完了
R3	実績	—
R4	実績	—
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	中学生に対するより良い食育の推進、栄養バランスの摂れた食生活の実現を目指すため、中学校給食実施に向けた調査・研究を行う機会を継続して設け、実施に係る方針策定を成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	子安 恵美子		直通	25-6786	内線	3732

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	③10.学力の充実・向上①		
②事業No.事業名		152.学習支援を行うための学校図書館の整備、読書活動の支援			事業実施期間	R4	～	R7
③新規・継続		新規	④事業区分	単独	国補助率	—	府補助率	—
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

学校図書館は児童生徒の読書活動の拠点であると共に、授業に役立つ資料を備え学習支援を行う等重要な役割を担っています。児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の一環として、学校図書館を整備し本市の図書館教育を着実に進めていくために、専任の学校司書を配置し、児童生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動の充実を図ります。

⑧活動指標（アウトプット指標）

		取組	事業費（円）	（活動）指標値	
R3	計画	—			
	実績	—			
	達成度			%	
達成度（R3年度～R7年度累積）			%		
R4	計画	学校司書の配置	5,035,000	[配置校] 全小学校及び義務教育学校	
	実績	学校司書の配置	5,159,116	[配置校] 全小学校及び義務教育学校	
		達成度			100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）			20 %
R5	計画	学校司書の配置	8,897,000	[配置校] 全小・中・義務教育学校	
	実績				
		達成度			%
		達成度（R3年度～R7年度累積）			%
R6	計画	学校司書の配置	8,897,000	[配置校] 全小・中・義務教育学校	
	実績				
		達成度			%
		達成度（R3年度～R7年度累積）			%
R7	計画	学校司書の配置	8,897,000	[配置校] 全小・中・義務教育学校	
	実績				
		達成度			%
		達成度（R3年度～R7年度累積）			%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	配置校数は市立図書館司書1名と合わせた校数とする。
------------------------	---------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果) 指標値
期間を通じた目標	京都府学力診断テスト（小4，中1，中2）読書に関する質問紙調査【読書は好きと回答した児童・生徒】の割合(%)及び【1日の読書時間】	京都府平均以上
R3	実績 —	—
R4	実績 —	京都府学力診断テスト未実施
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	専任の「学校司書」がいることは、子どもたちが図書館に足を運びやすく本に関する相談が出来る等読書量の増加につながることから上記の指標とした。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R4)令和5年度から司書の人数を増員し、中学校への巡回及び小学校への巡回回数を増やすこととする。【充実】※⑧活動指標の取組内容を変更
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	(R4)⑨成果指標（アウトカム指標）について令和4年度は京都府学力診断テストが実施されなかったため指標等は未記入とした。

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	戸根 武志		直通	25-6786	内線	3732

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	③10. 学力の充実・向上②				
②事業No.事業名	153. 学力向上における学習指導				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った指導方法の改善などを推進する。

⑧活動指標（アウトプット指標）

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	課題事項の明確化や対応方策等を検討し、学習指導要領に沿った授業実践の推進、教員相互による指導内容の工夫改善を行う。	0	実施
	実績	課題事項の明確化や対応方策等を検討し、学習指導要領に沿った授業実践の推進、教員相互による指導内容の工夫改善を行った。	0	実施
	達成度			100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	課題事項の明確化や対応方策等を検討し、学習指導要領に沿った授業実践の推進、教員相互による指導内容の工夫改善を行う。	0	実施
	実績	課題事項の明確化や対応方策等を検討し、学習指導要領に沿った授業実践の推進、教員相互による指導内容の工夫改善を行う。	0	実施
	達成度			100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	課題事項の明確化や対応方策等を検討し、学習指導要領に沿った授業実践の推進、教員相互による指導内容の工夫改善を行う。	0	
	実績			
	達成度			%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	課題事項の明確化や対応方策等を検討し、学習指導要領に沿った授業実践の推進、教員相互による指導内容の工夫改善を行う。	0	
	実績			
	達成度			%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	課題事項の明確化や対応方策等を検討し、学習指導要領に沿った授業実践の推進、教員相互による指導内容の工夫改善を行う。	0	
	実績			
	達成度			%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	学力向上度合を測るため、京都府平均点との比較を、定量的な活動指標とする。
------------------------	--------------------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	京都府学力診断テスト結果（京都府平均を100とする）	100超
R3	実績 京都府学力診断テスト結果（京都府平均を100とする）	小学校 99.3 中学校 97.0
R4	実績 京都府学力診断テスト結果（京都府平均を100とする）	京都府学力診断テスト未実施
R5	実績 京都府学力診断テスト結果（京都府平均を100とする）	
R6	実績 京都府学力診断テスト結果（京都府平均を100とする）	
R7	実績 京都府学力診断テスト結果（京都府平均を100とする）	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	学力向上度を測るため、京都府平均点との比較を、定量的な成果指標とする。
-----------------------	-------------------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	(R4)令和4年度は、京都府学力診断テスト未実施。

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	みらい教育リサーチセンター	係	まなびプロモーション係
担当者	白波瀬 和彦・戎 謙博		直通	26-3916	内線	

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	③10.学力の充実・向上③				
②事業No.事業名	154.学力分析・研究				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

学力向上に向け、全国学力・学習状況調査や京都府学力診断テストの結果から、成果や課題を明確にし、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った指導方法の改善などを推進する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	指導改善用分析シートの作成及び関係機関との連携	0	分析シートの作成数:2件 (全国調査・京都府テスト)	
	実績	指導改善用分析シートの作成及び関係機関との連携	0	分析シートの作成数:2件 (全国調査・京都府テスト)	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	指導改善用分析シートの作成及び関係機関との連携	0	分析シートの作成数:1件 (全国調査)	
	実績	指導改善用分析シートの作成及び関係機関との連携	0	分析シートの作成数:1件 (全国調査)	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %	
R5	計画	指導改善用分析シートの作成及び関係機関との連携	0	分析シートの作成数:2件 (全国調査・京都府テスト)	
	実績		0	分析シートの作成数:2件 (全国調査・京都府テスト)	
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	指導改善用分析シートの作成及び関係機関との連携	0	分析シートの作成数:2件 (全国調査・京都府テスト)	
	実績		0	分析シートの作成数:2件 (全国調査・京都府テスト)	
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	指導改善用分析シートの作成及び関係機関との連携	0	分析シートの作成数:2件 (全国調査・京都府テスト)	
	実績		0	分析シートの作成数:2件 (全国調査・京都府テスト)	
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	全国学力・学習状況調査や京都府学力診断テストに対し、成果・課題を明確にした分析シートの作成数。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	関係機関との連携による分析シートの活用率	全25校中25校(100%)
R3	実績 関係機関との連携による分析シートの活用率	全25校中25校(100%)
R4	実績 関係機関との連携による分析シートの活用率	全25校中25校(100%)
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	作成した分析シートを活用し、各学校に対して授業改善に向け指導・助言等を行った校数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)これまでの分析・経年比較等に加え、正答率層ごとの分布状況からも分析を行い、指導改善に向け、より効果的な指導・助言等に繋げることができた。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	—
担当者	川口 雅彦			25-6786	内線	3702

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	③11. 小中一貫教育・小中連携教育の推進		
②事業No.事業名	155. 小中一貫教育・小中連携教育の推進				事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

9年間の義務教育を見通した系統的・継続的な教育により、教科指導などの充実による学力向上や小学校から中学校への円滑な接続などを推進する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	亀岡市小中連携教育校推進委員会の開催 年1回	0	年1回	
	実績	亀岡市小中連携教育校推進委員会の開催	0	0回	
		達成度			0%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			0%
R4	計画	亀岡市小中連携教育校推進委員会の開催 年1回	0	年1回	
	実績	亀岡市小中連携教育校推進委員会の開催	0	0回	
		達成度			0%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			0%
R5	計画	亀岡市小中連携教育校推進委員会の開催 年1回	0	年1回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	亀岡市小中連携教育校推進委員会の開催 年1回	0	年1回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	亀岡市小中連携教育校推進委員会の開催 年1回	0	年1回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

取組を進めていくため、亀岡市小中連携教育校推進委員会の開催を定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	小中一貫教育・小中連携教育を推進するための視察の受入	1回以上
R3	実績 小中一貫教育・小中連携教育を推進するための視察の受入	未実施
R4	実績 小中一貫教育・小中連携教育を推進するための視察の受入	未実施
R5	実績 小中一貫教育・小中連携教育を推進するための視察の受入	
R6	実績 小中一貫教育・小中連携教育を推進するための視察の受入	
R7	実績 小中一貫教育・小中連携教育を推進するための視察の受入	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	本市の小中一貫教育・小中連携教育を推進することにより、先進地として視察を受け入れるほど進んだ取組であるといえるため、定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	西田 圭介/子安 恵美子		直通	25-6786	内線	3732

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	③12. 体験活動（ふるさと体験学習）などの充実					
②事業No.事業名		156.キャリア教育推進に係る事業/文化芸術体験に係る事業			事業実施期間	R3	～	R7			
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	—	府補助率	—		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)											

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

職業観や勤労観の醸成を通じて、豊かな人間性や社会性を育成するために、文化体験活動を実施します。また、子どもたちの表現力や想像力を醸成させるため、優れた舞台芸術等を鑑賞する機会を提供します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

		取組	事業費（円）	（活動）指標値	
R3	計画	文化・芸術体験事業の機会提供（「文化芸術による子供育成総合事業」・「文化を未来に伝える次世代育み事業」等の活用）	—	実施校数 5校	
	実績	文化・芸術体験事業の機会提供（「文化芸術による子供育成総合事業」・「文化を未来に伝える次世代育み事業」等の活用）	—	実施校数 11校	
		達成度			100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）			20 %
R4	計画	文化・芸術体験事業の機会提供（「文化芸術による子供育成総合事業」・「文化を未来に伝える次世代育み事業」等の活用）	—	実施校数 5校	
	実績	文化・芸術体験事業の機会提供（「文化芸術による子供育成総合事業」・「文化を未来に伝える次世代育み事業」等の活用）	—	実施校数 10校	
		達成度			100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）			40 %
R5	計画	文化・芸術体験事業の機会提供（「文化芸術による子供育成総合事業」・「文化を未来に伝える次世代育み事業」等の活用）	—	実施校数 5校	
	実績				
		達成度			%
		達成度（R3年度～R7年度累積）			%
R6	計画	文化・芸術体験事業の機会提供（「文化芸術による子供育成総合事業」・「文化を未来に伝える次世代育み事業」等の活用）		実施校数 5校	
	実績				
		達成度			%
		達成度（R3年度～R7年度累積）			%
R7	計画	文化・芸術体験事業の機会提供（「文化芸術による子供育成総合事業」・「文化を未来に伝える次世代育み事業」等の活用）		実施校数 5校	
	実績				
		達成度			%
		達成度（R3年度～R7年度累積）			%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	文化庁及び京都府事業を活用して鑑賞・体験する機会を設ける学校数とする。
------------------------	-------------------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果) 指標値
期間を通じた目標	優れた演劇や伝統芸能等に触れることにより、表現力や創造性を高める。	—
R3	実績 優れた演劇や伝統芸能等に触れることにより、表現力や創造性を高めることができた。	—
R4	実績 優れた演劇や伝統芸能等に触れることにより、表現力や創造性を高めることができた。	—
R5	実績	—
R6	実績	—
R7	実績	—
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	子どもたちに文化・芸術を体感できる多様な機会を提供することにより、興味・関心の向上とともに豊かな感性の醸成につながり、道徳・情操教育の向上が見られることから、上記指標とした。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	西田 圭介			25-6786	内線	3736

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	③12. 体験活動(ふるさと体験学習)などの充実				
②事業No. 事業名		157. 保津川環境学習・保津川下り体験乗船事業 亀岡郷土愛を育むエコラフティング事業			事業実施 期間	R3	~	R7		
③新規・継続		新規	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

自然や環境学習などを通して、ふるさと愛や誇りを持ち、このまちに住み続けたいと思えるよう、かめおかの良さを学べる取組を推進する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	全中学校・義務教育学校(8校)で、保津川環境学習・保津川下り体験乗船事業実施	4,303,000	8校	
	実績	全中学校・義務教育学校(8校)で、保津川環境学習・保津川下り体験乗船事業実施	2,474,640	8校	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		20 %	
R4	計画	全中学校・義務教育学校(8校)で、保津川環境学習・保津川下り体験乗船事業実施	4,423,000	8校	
	実績	全中学校・義務教育学校(8校)で、保津川環境学習・保津川下り体験乗船事業実施	2,840,500	8校	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		40 %	
R5	計画	全中学校・義務教育学校(7校)で、保津川環境学習・保津川下り体験乗船事業実施	4,423,000	7校	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%	
R6	計画	全中学校・義務教育学校(7校)で、保津川環境学習・保津川下り体験乗船事業実施	4,423,000	7校	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%	
R7	計画	全中学校・義務教育学校(7校)で、保津川環境学習・保津川下り体験乗船事業実施	4,423,000	7校	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

毎年度、実施することを予定している実績を、実施校数として定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある児童生徒の割合	小学校4年 66% 中学校2年 38%
R3	実績 今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある児童生徒の割合	小学校4年 63% 中学校2年 42%
R4	実績 今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある児童生徒の割合	京都府学力診断テスト未実施
R5	実績 今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある児童生徒の割合	
R6	実績 今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある児童生徒の割合	
R7	実績 今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある児童生徒の割合	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの生徒の中で、ふるさとを思う心の醸成が必要であると考え、質問紙調査結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者	井内 康博			25-5053	内線	3735

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	③13. 国際理解教育、並びに外国人児童生徒への学習支援の推進				
②事業No. 事業名		158. 外国語指導助手設置事業			事業実施期間	R3		～	R7	
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	-		府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

外国語指導助手 (ALT) を小学校・中学校・義務教育学校に派遣することにより、外国の言語・歴史・文化に触れる機会を通じて国際理解を深めたグローバルな人材育成を推進します。

⑧活動指標 (アウトプット指標)

取組		事業費 (円)	(活動) 指標値	
R3	計画	外国語指導助手による小学校・中学校・義務教育学校への派遣	16,447,000	
	実績	外国語指導助手による小学校・中学校・義務教育学校への派遣	9,399,357	
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	外国語指導助手による小学校・中学校・義務教育学校への派遣	15,224,000	
	実績	外国語指導助手による小学校・中学校・義務教育学校への派遣	13,793,990	
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	外国語指導助手による小学校・中学校・義務教育学校への派遣	16,208,000	
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	外国語指導助手による小学校・中学校・義務教育学校への派遣		
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	外国語指導助手による小学校・中学校・義務教育学校への派遣		
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%

活動指標 (アウトプット指標) の具体的な考え方	外国語指導助手を全校に派遣することで、市立学校の児童生徒が英語や外国文化に触れる機会を確保する。
--------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	英語検定チャレンジ事業受検率	50%以上
R3	実績 英語検定チャレンジ事業受検率	37.69%
R4	実績 英語検定チャレンジ事業受検率	38.09%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	事業目的達成のためには、外国語への関心度、習得意欲を高めることが必要であることから、英語検定チャレンジ事業（中学3年生対象）の受検率の向上を指標とした。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)派遣計画を各学校との調整のもと作成し、外国語指導助手(ALT)の効果的な活用に努めた。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	伯耆 紳介/戸根 武志			25-6786	内線	3732

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	③14. 生徒指導・教育相談活動の充実				
②事業No. 事業名	160. 生徒指導・進路指導のための専門家の配置等教育相談対応				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置や関係機関との連携により、児童生徒や保護者からの相談への対応の充実を図る。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	スクールカウンセラーの配置	0	9人	
	実績	スクールカウンセラーの配置	0	9人	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	スクールカウンセラーの配置	0	9人	
	実績	スクールカウンセラーの配置	0	9人	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %	
R5	計画	スクールカウンセラーの配置	0	9人	
	実績	スクールカウンセラーの配置			
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	スクールカウンセラーの配置	0	9人	
	実績	スクールカウンセラーの配置			
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	スクールカウンセラーの配置	0	9人	
	実績	スクールカウンセラーの配置			
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	相談が必要な児童生徒が新規に増加することを考慮しつつ、既存の児童生徒への相談の結果、対応が必要でなくなるに至ることを目指し、スクールカウンセラーの配置人数について、毎年度同数を定量的な活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	100%
R3	実績 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	中学校2年生 93%
R4	実績 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	京都府学力診断テスト未実施
R5	実績 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	
R6	実績 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	
R7	実績 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、生徒全員が、良好な人間関係を築くことが必要であると考え、質問紙調査結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	戸根 武志			25-6786	内線	3732

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	③15. 人権教育の推進		
②事業No.事業名	161. 人権教育				事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

児童生徒の発達段階に応じた、人権感覚及び実践・行動力、人権尊重意識の育成を図るなど、人権教育を推進する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	全小・中・義務教育学校で、人権にかかる学習を実施 25校	0	25校	
	実績	全小・中・義務教育学校で、人権にかかる学習を実施 25校	0	25校	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			20 %
R4	計画	全小・中・義務教育学校で、人権にかかる学習を実施 25校	0	25校	
	実績	全小・中・義務教育学校で、人権にかかる学習を実施 25校	0	25校	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			40 %
R5	計画	全小・中・義務教育学校で、人権にかかる学習を実施 25校	0	100%	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	全小・中・義務教育学校で、人権にかかる学習を実施 25校	0	100%	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	全小・中・義務教育学校で、人権にかかる学習を実施 25校	0	100%	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 毎年度、実施することを予定している実績を、実施校数として定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	人の気持ちがかかる人間になりたいと思う児童生徒の割合	100%
R3	実績 人の気持ちがかかる人間になりたいと思う児童生徒の割合	中学校2年生 97%
R4	実績 人の気持ちがかかる人間になりたいと思う児童生徒の割合	京都府学力診断テスト未実施
R5	実績 人の気持ちがかかる人間になりたいと思う児童生徒の割合	
R6	実績 人の気持ちがかかる人間になりたいと思う児童生徒の割合	
R7	実績 人の気持ちがかかる人間になりたいと思う児童生徒の割合	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、生徒全員が、他人のことを思う心の醸成が必要であると考え、質問紙調査結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	福岡 理絵		直通	25-6786	内線	3732

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	③16. 特別支援教育の充実		
②事業No. 事業名	162. 特別支援教育支援員の配置等				事業実施期 間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	一部補助	国補助率	50%	府補助率	25%	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

発達障がいを含む障害のある児童生徒が増加する中で、個々の状態に応じた効果的な学習支援等を行うため、各学校の実態に応じて「特別支援教育支援員」の配置や「通級による指導」を行います。

また、幼児・児童・生徒の教育相談（発達検査の実施及び保護者や担当保育士、教職員の相談）や集団生活に適応しづらいと思われる幼児の就学に向け、ソーシャルスキルトレーニングを高めることを目的とした教室を開催します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

		取組	事業費（円）	（活動）指標値	
R3	計画	●特別支援教育支援員等の配置 ●幼児発達支援教室の実施	24,994,000	●特別支援教育支援員等の配置25校 ●幼児発達支援教室の実施 20回（2グループ×10回）	
	実績	●特別支援教育支援員等の配置 ●幼児発達支援教室の実施	23,569,077	●特別支援教育支援員等の配置25校 ●幼児発達支援教室の実施 19回（10回,9回）	
		達成度		100 %	
		達成度（R3年度～R7年度累積）		19.5 %	
R4	計画	●特別支援教育支援員等の配置 ●幼児発達支援教室の実施	30,237,000	●特別支援教育支援員等の配置25校 ●幼児発達支援教室の実施 20回（2グループ×10回）	
	実績	●特別支援教育支援員等の配置 ●幼児発達支援教室の実施	24,088,510	●特別支援教育支援員等の配置25校 ●幼児発達支援教室の実施 20回（2グループ×10回）	
		達成度		100 %	
		達成度（R3年度～R7年度累積）		39.5 %	
R5	計画	●特別支援教育支援員等の配置 ●幼児発達支援教室の実施	27,344,240	●特別支援教育支援員等の配置24校 ●幼児発達支援教室の実施 20回（2グループ×10回）	
	実績				
		達成度		%	
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%	
R6	計画	●特別支援教育支援員等の配置 ●幼児発達支援教室の実施		●特別支援教育支援員等の配置25校 ●幼児発達支援教室の実施 20回（2グループ×10回）	
	実績				
		達成度		%	
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%	
R7	計画	●特別支援教育支援員等の配置 ●幼児発達支援教室の実施		●特別支援教育支援員等の配置25校 ●幼児発達支援教室の実施 20回（2グループ×10回）	
	実績				
		達成度		%	
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%	

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	支援員の適正な配置、幼児発達支援教室の開催を指標とする。
------------------------	------------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果) 指標値
期間を通じた目標	①特別支援の必要な児童生徒の個別の指導計画を作成し、その計画に基づき指導を実施、児童生徒の状態に応じた効果的な学習支援を行う。 ②「幼児発達支援教室」の実施による保護者の不安解消を図る。	①児童生徒の状態に応じた効果的な学習支援を行う。 ②保護者の不安解消を図る。（アンケートより）
R3	実績 ①特別支援の必要な児童生徒の個別の指導計画を作成し、その計画に基づき指導を実施、児童生徒の状態に応じた効果的な学習支援を行った。 ②「幼児発達支援教室」の実施による保護者の不安解消を図った。	①児童生徒の状態に応じた効果的な学習支援を行った。 ②保護者の不安解消を図ることができた。（アンケートより）
R4	実績 ①特別支援の必要な児童生徒の個別の指導計画を作成し、その計画に基づき指導を実施、児童生徒の状態に応じた効果的な学習支援を行った。 ②「幼児発達支援教室」の実施による保護者の不安解消を図った。	①児童生徒の状態に応じた効果的な学習支援を行った。 ②保護者の不安解消を図ることができた。（アンケートより）
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	支援員の配置や幼児発達支援教室におけるソーシャルスキルトレーニングにより、障がいの状態に応じた適切な教育環境を充実させることを目標とするため上記指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

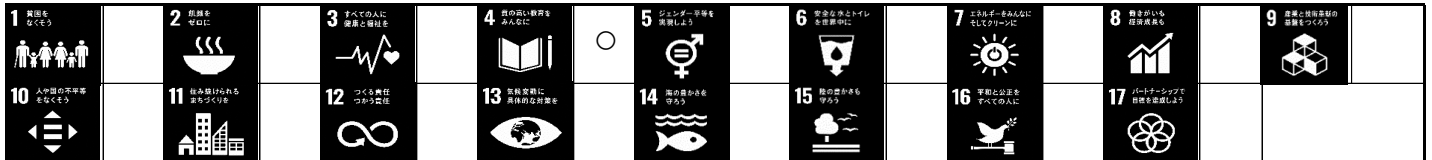
達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	上田 香苗			25-6786	内線	3732

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	③17. 健やかな体づくりと食育の推進					
②事業No.事業名		163.食育推進			事業実施期間	R3	～	R7			
③新規・継続		継続	④事業区分	単独	国補助率	—	府補助率	—			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)											

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

食に関する正しい知識と食品を選択する力を習得し、健全な食生活・食習慣を実践することができる児童生徒を育てるため、食育の取組を推進します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

		取組	事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	各学校の食に関する指導計画に基づく、給食主任や学校給食センター派遣の栄養教諭による食育指導の実施	—	①食育月間における取組(全校で実施) ②食育の日における取組(全校で実施) ③上記以外における取組(全校で実施)
	実績	各学校の食に関する指導計画に基づく、給食主任や学校給食センター派遣の栄養教諭による食育指導の実施	—	①食育月間における取組(全校で実施) ②食育の日における取組(全校で実施) ③上記以外における取組(全校で実施)
			達成度	100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20 %
R4	計画	各学校の食に関する指導計画に基づく、給食主任や学校給食センター派遣の栄養教諭による食育指導の実施	—	①食育月間における取組(全校で実施) ②食育の日における取組(全校で実施) ③上記以外における取組(全校で実施)
	実績	各学校の食に関する指導計画に基づく、給食主任や学校給食センター派遣の栄養教諭による食育指導の実施	—	①食育月間における取組(全校で実施) ②食育の日における取組(全校で実施) ③上記以外における取組(全校で実施)
			達成度	100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40 %
R5	計画	各学校の食に関する指導計画に基づく、給食主任や学校給食センター派遣の栄養教諭による食育指導の実施	—	①食育月間における取組(全校で実施) ②食育の日における取組(全校で実施) ③上記以外における取組(全校で実施)
	実績			
			達成度	100 %
R6	計画	各学校の食に関する指導計画に基づく、給食主任や学校給食センター派遣の栄養教諭による食育指導の実施	—	①食育月間における取組(全校で実施) ②食育の日における取組(全校で実施) ③上記以外における取組(全校で実施)
	実績			
			達成度	100 %
R7	計画	各学校の食に関する指導計画に基づく、給食主任や学校給食センター派遣の栄養教諭による食育指導の実施	—	①食育月間における取組(全校で実施) ②食育の日における取組(全校で実施) ③上記以外における取組(全校で実施)
	実績			
			達成度	100 %

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	各校個々の食育指導の実施を指標とする。
------------------------	---------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果) 指標値
期間を通じた目標	京都府学力診断テスト（小4，中1，中2）基本的な生活習慣に関する質問紙調査【毎日朝食を食べる児童・生徒】の割合(%)	府内平均以上
R3	実績 京都府学力診断テスト（小4，中1，中2）基本的な生活習慣に関する質問紙調査【毎日朝食を食べる児童・生徒】の割合(%)	小4：83%（府内平均：85%） 中1：81%（府内平均：81%） 中2：78%（府内平均：81%）
R4	実績 —	京都府学力診断テスト未実施
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	毎日朝食を食べるという望ましい食習慣が身についているかを指標とする。
-----------------------	------------------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	(R4) ⑨成果指標（アウトカム指標）について 令和4年度は京都府学力診断テストが実施されなかったため指標等は未記入とした。

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育委員会	課	学校給食センター	係	学校給食センター
担当者		山本 道代	直通	24-3833	内線	

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	[3]17. 健やかな体づくりと食育の推進				
②事業No.事業名	164.学校での食に関する指導				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

- ・地元産食材の利用推進と、安全・安心で栄養バランスに配慮した給食の提供
- ・各種助成金事業を活用した地元産食材利用の給食の提供
- ・「きゅうしょくだより」「よていこんだて」の各家庭への配布、学校内での給食指導や食育に活用

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	・地元産食材の利用推進と、安全・安心で栄養バランスに配慮した給食の提供 ・学校・家庭との連携・食育の推進	0	①給食指導18回 ②たより等配布13回	
	実績	① 新型コロナにより対面による食育指導は出来なかった。 ② 「きゅうしょくだより」「よていこんだて」の各家庭へ配布し、校内での給食指導や食育に活用した。	0	①給食指導0回 ②たより等配布13回	
		達成度		50 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		10 %	
R4	計画	・地元産食材の利用推進と、安全・安心で栄養バランスに配慮した給食の提供 ・学校・家庭との連携・食育の推進	0	①給食指導18回 ②たより等配布13回	
	実績	① 地元産食材の利用推進と、安全・安心で栄養バランスに配慮した給食を提供を行った。 ② 「きゅうしょくだより」「よていこんだて」を各家庭へ配布し、校内での給食指導や食育に活用した。	0	①給食指導41回 ②たより等配布13回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		30 %	
R5	計画	・地元産食材の利用推進と、安全・安心で栄養バランスに配慮した給食の提供 ・学校・家庭との連携・食育の推進	0	①給食指導30回 ②たより等配布13回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画				
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画				
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

市内18小学校で給食指導を行ったり、きゅうしょくだよりを配布することによる、食に関する指導を行うことを活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	・市内18小学校の給食残菜量 ゼロ	給食残菜量 ゼロ
R3	実績 ・市内18小学校の給食残菜量	給食残菜量 14,252kg
R4	実績 ・市内18小学校の給食残菜量	給食残菜量 14,597kg
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	市内18小学校で食に関する指導を行なうことにより残菜量を減らす。
-----------------------	----------------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R4)令和4年度においては、新型コロナの感染状況が一定収まったこともあり、学校からの要望が増加し、給食指導の実施回数が計画を大きく上回った。
進行上の課題や問題点	(R3)新型コロナのため、学校へ指導に行けない。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	みらい教育リサーチセンター	係	まなびプロモーション係
担当者	石倉 直樹		直通	26-3916	内線	

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	③18. サイエンスボランティアの育成				
②事業No.事業名		165.地域ふれあいサイエンスフェスタ事業 サイエンスフレンズ学習クラブ事業			事業実施 期間	R3	～	R7		
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

サイエンスフェスタ及びサイエンスフレンズ学習クラブの充実した開催に向け、事業を支える学校や企業等の関係機関の輪を広げる。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	参画関連企業との連携	932,277	フェスタ対面開催時:54団体 Web開催時:31団体	
	実績	参画関連企業との連携	104,500	Web開催:33団体	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	参画関連企業との連携	693,892	フェスタ対面開催時:55団体 Web開催時:34団体	
	実績	参画関連企業との連携	685,704	対面開催:47団体	
		達成度		85 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		37 %	
R5	計画	参画関連企業との連携	700,000	フェスタ対面開催時:55団体 Web開催時:34団体	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	参画関連企業との連携	700,000	フェスタ対面開催時:56団体 Web開催時:37団体	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	参画関連企業との連携	700,000	フェスタ対面開催時:56団体 Web開催時:37団体	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方
サイエンスフェスタの開催には、地元企業やボランティアの協力が必要であることから、更に充実したものとするため、これまでの参加団体数(対面的開催:令和元年度54団体、Web開催:令和2年度31団体)を基本に、2年ごとに、対面開催時には1団体、Web開催時には3団体の参加を目指す。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	対面開催時のブース数(Web開催時のコンテンツ数)	フェスタ対面開催時:57ブース Web開催時:81コンテンツ
R3	実績 対面開催時のブース数(Web開催時のコンテンツ数)	Web開催時:75コンテンツ
R4	実績 対面開催時のブース数	47ブース
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	これまでの開設ブース等（対面的開催:令和元年度55ブース、Web開催:令和3年度75コンテンツ）を基本に、2年ごとに、対面開催時には1ブース、Web開催時には3コンテンツの設置を増やした数を定量数とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)Web開催にあたり、昨年度までの経験を活かし、関連団体との連携のもと、円滑なコンテンツの作成に協力いただくことができた。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	—
担当者	川口 雅彦			25-6786	内線	3702

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	③19. 教職員の資質の向上①				
②事業No.事業名		166. 168. 小学校教育研究会、中学校教育研究会との連携			事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

時代の要請に対応した教育が行えるよう研究機能を充実させるとともに、就学前から義務教育終了までを見通した切れ目のない支援ができるよう組織体制の充実を図り、教職員の資質向上を推進する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	小学校教育研究会、中学校教育研究会との連携		年1回以上の研究会	
	実績	小学校教育研究会、中学校教育研究会との連携		年1回以上の研究会	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			20 %
R4	計画	小学校教育研究会、中学校教育研究会との連携		年1回以上の研究会	
	実績	小学校教育研究会、中学校教育研究会との連携		年1回以上の研究会	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			40 %
R5	計画	小学校教育研究会、中学校教育研究会との連携		年1回以上の研究会	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	小学校教育研究会、中学校教育研究会との連携		年1回以上の研究会	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	小学校教育研究会、中学校教育研究会との連携		年1回以上の研究会	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	毎年度、両研究会は、会議等様々な活動を行っており、そこの連携を継続すること自体が必要なことである。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	教職員の資質向上	資質向上
R3	実績 教職員の資質向上	資質向上
R4	実績 教職員の資質向上	資質向上
R5	実績 教職員の資質向上	資質向上
R6	実績 教職員の資質向上	資質向上
R7	実績 教職員の資質向上	資質向上
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	毎年度、両研究会は、教職員の資質向上も視野に入れながら、会議等様々な活動を行っており、そこの連携を継続すること自体が必要なことであると考え、成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	みらい教育リサーチセンター	係	まなびプロモーション係
担当者	村上 正美		直通	26-3916	内線	

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	③19. 教職員の資質の向上②				
②事業No.事業名	167.ICT教育の推進に向けた研修事業				事業実施期間	R3 ~ R7				
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-		府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

ICT教育の推進のため、教職員のICT機器等の活用に係る知識・技能等の習得を図ることを目的に研修講座を実施する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	ICT教育等調査研究及び教職員研修の実施	0	研修講座の開催 13回
	実績	ICT教育等調査研究及び教職員研修の実施	0	研修講座の開催 13回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	ICT教育等調査研究及び教職員研修の実施	21,000	研修講座の開催 16回
	実績	ICT教育等調査研究及び教職員研修の実施	0	研修講座の開催 16回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	ICT教育等調査研究及び教職員研修の実施	21,000	研修講座の開催 16回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	ICT教育等調査研究及び教職員研修の実施	21,000	研修講座の開催 16回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	ICT教育等調査研究及び教職員研修の実施	21,000	研修講座の開催 16回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	タブレットの基本操作、授業での活用、学級閉鎖時等のオンラインを利用した学習など、ICT教育の推進に必要な知識・技能の習得を計画的に行う研修講座数に対する実施回数。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	学校でのタブレットを毎日活用する頻度	小学校(全学年平均):100% 中学校(全学年平均):100%
R3	実績 学校でのタブレットを毎日活用する頻度	小学校(全学年平均):56% 中学校(全学年平均):58%
R4	実績 学校でのタブレットを毎日活用する頻度	小学校(全学年平均):56% 中学校(全学年平均):92%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	研修講座を通じて習得した知機・技能により、学校での学習に生かすことのできた頻度の割合。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R4)研修講座の内容などについては、学校担当者等との連携の中で、研修内容の要望や活用状況を把握しながら充実した研修とすることができた。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	みらい教育リサーチセンター	係	まなびプロモーション係
担当者	村上 正美		直通	26-3916	内線	

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	③19. 教職員の資質の向上③				
②事業No.事業名		169.課題対応・指導改善・校種間連携研修等実施事業			事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

時代の要請に応じた新たな教育課題への対応、学力向上に向けた指導改善等、就学前から切れ目のない支援ができる組織体制の充実等を図るため、研修講座を通じて教職員の資質向上を図る。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	課題対応・指導改善・校種間連携研修等の実施	125,000	38回	
	実績	課題対応・指導改善・校種間連携研修等の実施	90,000	38回	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			20 %
R4	計画	課題対応・指導改善・校種間連携研修等の実施	260,800	35回	
	実績	課題対応・指導改善・校種間連携研修等の実施	190,000	35回	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			40 %
R5	計画	課題対応・指導改善・校種間連携研修等の実施	300,000	35回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	課題対応・指導改善・校種間連携研修等の実施	300,000	35回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	課題対応・指導改善・校種間連携研修等の実施	300,000	35回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	新たな教育課題への対応、学力向上に向けた指導改善や就学前から切れ目のない支援ができる組織体制の充実等を目的に、計画的に行う研修講座の実施回数。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	研修講座を受講して「よかった」「今後この研究で学んだことをいかしたい」と回答した受講生の割合	100%
R3	実績 研修講座を受講して「よかった」「今後この研究で学んだことをいかしたい」と回答した受講生の割合	98%
R4	実績 研修講座を受講して「よかった」「今後この研究で学んだことをいかしたい」と回答した受講生の割合	99.5%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	受講した研修講座の目的・内容に対し、受講内容を今後の取り組みにつなげようとするの受講者の割合
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	西田 圭介			25-6786	内線	3736

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	③20. 新しい教育への対応①		
②事業No.事業名		170. 英語検定チャレンジ事業			事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率		府補助率
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

グローバル化に対応し、外国語教育に積極的に取り組みます。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	3年生(9年生)の生徒数に対する受験者の割合	1,200,000	50%以上	
	実績	3年生(9年生)の生徒数に対する受験者の割合	1,396,100	37.69%	
		達成度			75 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			15 %
R4	計画	3年生(9年生)の生徒数に対する受験者の割合	1,838,400	50%以上	
	実績	3年生(9年生)の生徒数に対する受験者の割合	1,420,200	38.09%	
		達成度			76 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			30 %
R5	計画	3年生(9年生)の生徒数に対する受験者の割合	2,842,500	50%以上	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	3年生(9年生)の生徒数に対する受験者の割合	2,842,500	50%以上	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	3年生(9年生)の生徒数に対する受験者の割合	2,842,500	50%以上	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

3年生(9年生)の生徒数に対する受験者の割合を、定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	英検3級以上相当の生徒の割合(中学校3年生)	50%以上
R3	実績 英検3級以上相当の生徒の割合(中学校3年生)	31.3%
R4	実績 英検3級以上相当の生徒の割合(中学校3年生)	33.0%
R5	実績 英検3級以上相当の生徒の割合(中学校3年生)	
R6	実績 英検3級以上相当の生徒の割合(中学校3年生)	
R7	実績 英検3級以上相当の生徒の割合(中学校3年生)	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	外国語教育の推進の結果、3年生（9年生）の生徒において、英検3級以上相当の生徒の割合を、定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	みらい教育リサーチセンター	係	まなびプロモーション係
担当者	広瀬 一弥		直通	26-3916	内線	

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	③20. 新しい教育への対応②				
②事業No.事業名		171. プログラミング教材活用による学習支援			事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

プログラミング教育の充実を図るため、各学校にプログラミング教材の貸出等を行う。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	プログラミング教材活用による学習支援	102,960	教材貸出校:25校	
	実績	プログラミング教材活用による学習支援	110,000	教材貸出校:25校	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			20 %
R4	計画	プログラミング教材活用による学習支援	0	教材貸出校:25校	
	実績	プログラミング教材活用による学習支援	0	教材貸出校:25校	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			40 %
R5	計画	プログラミング教材活用による学習支援	0	教材貸出校:25校	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	プログラミング教材活用による学習支援	0	教材貸出校:25校	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	プログラミング教材活用による学習支援	0	教材貸出校:25校	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	教材の活用により教育内容の充実を図るため、教材を貸し出した学校の数。
------------------------	------------------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	プログラミング教材を活用した学校の割合	学習活用校:100%
R3	実績 プログラミング教材を活用した学校の割合	学習活用校:100% (25校中25校)
R4	実績 プログラミング教材を活用した学校の割合	学習活用校:100% (25校中25校)
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	プログラミング教育の内容充実を図るため、教材を活用した学校の割合。
-----------------------	-----------------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)学校関係機関とも調整し、貸し出し時期の把握・調整を行うことができたことにより、より円滑な利用につなげることができた。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	みらい教育リサーチセンター	係	まなびプロモーション係
担当者	広瀬 一弥		直通	26-3916	内線	

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	③20. 新しい教育への対応③				
②事業No.事業名		I72.ICT機器を活用した授業改善及び遠隔授業実施体制構築の支援			事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

日常の学習における主体的・対話的で深い学びの実現及び学級閉鎖時等の学びを保障するため、ICT機器等を用いた授業改善及び遠隔授業の実施体制の構築を支援する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	①授業支援ソフト導入の検討 ②遠隔授業実施に向けた準備・試行等、実施体制構築に向けた検討	44,880,000	①授業支援ソフト導入検討 ②実施体制構築の検討	
	実績	①授業支援ソフト導入の検討 ②遠隔授業実施に向けた準備・試行等、実施体制構築に向けた検討	33,000,000	①授業支援ソフト導入検討 ②実施体制構築の検討	
			達成度	100 %	
			達成度(R3年度～R7年度累積)	20 %	
R4	計画	①授業支援ソフト導入 ②遠隔授業実施体制の構築	19,800,000	①ソフト導入校:100% ②実施体制構築校:100%	
	実績	①授業支援ソフト導入 ②遠隔授業実施体制の構築	19,693,619	①ソフト導入校:100% ②実施体制構築校:100%	
			達成度	100 %	
			達成度(R3年度～R7年度累積)	40 %	
R5	計画	①授業支援ソフト導入 ②遠隔授業実施体制の構築	19,800,000	①ソフト導入校:100% ②実施体制構築校:100%	
	実績				
			達成度	%	
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%	
R6	計画	①授業支援ソフト導入 ②遠隔授業実施体制の構築	19,800,000	①ソフト導入校:100% ②実施体制構築校:100%	
	実績				
			達成度	%	
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%	
R7	計画	①授業支援ソフト導入 ②遠隔授業実施体制の構築	19,800,000	①ソフト導入校:100% ②実施体制構築校:100%	
	実績				
			達成度	%	
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

- ①ICT環境の整っている学校に対し、授業支援ソフトの導入を行った学校の割合。
- ②タブレット等を用いて、遠隔授業の実施体制の整っている学校の割合。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	①授業支援ソフトを活用した学校の割合 ②遠隔授業等を実施した学校の割合	①ソフト活用校:100% ②遠隔授業等実施校:100%
R3	実績 ①授業支援ソフト導入の検討 ②遠隔授業実施に向けた準備・試行等、実施体制構築に向けた検討	①授業支援ソフト導入検討 ②実施体制構築の検討
R4	実績 ①授業支援ソフト導入 ②遠隔授業実施体制の構築	①ソフト導入校:100% ②実施体制構築校:100%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	①ICT環境の整っている学校に対し、授業支援ソフトを活用し学習活動を行った学校の数の割合。 ②学級閉鎖時等において、健康観察、オンライン学習など、タブレットを用いた学習保障などにつながる取り組みが行えた学校の割合。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)学校担当者研修を行うことにより、タブレット導入から短期間での授業活用につなげることができ、オンライン学習等での活用にあたって試行校の取り組みによる成果や課題点を各学校で共有を図ったことにより、円滑な活用につなげることができた。 (R4)授業支援ソフトを全学校に導入し、ICT教育の推進に向けた研修の実施やICT支援員の配置を実施し、授業改善の支援を進めた。また、遠隔授業についての先行事例を研修等を通して学校間で共有し、実施体制構築の推進を図った。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者	石田 和久			25-5053	内線	3733

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	㊦21.安全・安心な通学路の確保			
②事業No.事業名	173.通学路交通安全対策事業				事業実施期間	R3	～	R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

亀岡市通学路等交通安全プログラムに基づき、関係機関と連携し、通学路における安全対策を推進する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	亀岡市通学路等交通安全推進会議の開催	-	年2回	
	実績	亀岡市通学路等交通安全推進会議の開催	-	年2回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	亀岡市通学路等交通安全推進会議の開催	-	年2回	
	実績	亀岡市通学路等交通安全推進会議の開催	-	年2回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %	
R5	計画	亀岡市通学路等交通安全推進会議の開催		年2回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	亀岡市通学路等交通安全推進会議の開催		年2回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	亀岡市通学路等交通安全推進会議の開催		年2回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 毎年度、4～5月、10月～12月に開催することとしている亀岡市通学路等交通安全推進会議の開催実績を、定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	児童生徒の登下校時重大事故件数	0件
R3	実績 児童生徒の登下校時重大事故件数	0件
R4	実績 児童生徒の登下校時重大事故件数	0件
R5	実績 児童生徒の登下校時重大事故件数	
R6	実績 児童生徒の登下校時重大事故件数	
R7	実績 児童生徒の登下校時重大事故件数	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	通学路における安全対策を推進することで、安全・安心な通学路が確保できるとして、登下校時重大事故件数を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者	福本 加奈子			25-5053	内線	3734

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	④22. 遠距離通学する児童生徒の安全確保①		
②事業No.事業名	I74.通学安全対策事業				事業実施期間	R3	~	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

山間部等で遠距離を通学する児童生徒に対し、スクールバスを運行し通学時の安全確保につなげる。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	遠距離通学児童生徒の安全確保のためのスクールバス運行	51,432,000	6校	
	実績	遠距離通学児童生徒の安全確保のためのスクールバス運行	46,857,836	6校	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度~R7年度累積)			20 %
R4	計画	遠距離通学児童生徒の安全確保のためのスクールバス運行	52,182,000	6校	
	実績	遠距離通学児童生徒の安全確保のためのスクールバス運行	51,655,651	6校	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度~R7年度累積)			40 %
R5	計画	遠距離通学児童生徒の安全確保のためのスクールバス運行	62,284,000	6校	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度~R7年度累積)			%
R6	計画	遠距離通学児童生徒の安全確保のためのスクールバス運行			
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度~R7年度累積)			%
R7	計画	遠距離通学児童生徒の安全確保のためのスクールバス運行			
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度~R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

遠距離通学児童生徒の安全確保のためスクールバスを運行する。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	遠距離通学児童生徒の登下校時重大事故件数	0件
R3	実績 遠距離通学児童生徒の登下校時重大事故件数	0件
R4	実績 遠距離通学児童生徒の登下校時重大事故件数	0件
R5	実績 遠距離通学児童生徒の登下校時重大事故件数	件
R6	実績 遠距離通学児童生徒の登下校時重大事故件数	件
R7	実績 遠距離通学児童生徒の登下校時重大事故件数	件
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	スクールバスを運行することで遠距離通学児童生徒の安全対策が図れるとして、登下校時重大事故件数を成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者	木村 直貴			25-5053	内線	3735

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	④ 22 遠距離通学する児童生徒の安全確保 ②			
②事業No.事業名	175.遠距離通学児童生徒通学費補助事業・自転車通学生徒安全帽購入助成金				事業実施期間	R3	～	R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

遠距離通学児童生徒について通学費の助成や、自転車通学生徒のヘルメット購入の助成を行い、通学時の安全を図るとともに、保護者の負担を軽減します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	①通学用定期購入補助	①542,000	①3名
		②通学用ヘルメット購入補助	②224,000	②95名
	実績	①通学用定期購入補助	①139,440	①3名
		②通学用ヘルメット購入補助	②123,080	②95名
達成度			100 %	
達成度(R3年度～R7年度累積)			20 %	
R4	計画	①通学用定期購入補助	①319,000	①2名
		②通学用ヘルメット購入補助	②164,000	②82名
	実績	①通学用定期購入補助	①135,860	①2名
		②通学用ヘルメット購入補助	②112,200	②83名
達成度			100 %	
達成度(R3年度～R7年度累積)			40 %	
R5	計画	①通学用定期購入補助	①317,000	①2名
		②通学用ヘルメット購入補助	②147,000	②85名
	実績			
		達成度		
達成度(R3年度～R7年度累積)			%	
R6	計画	①通学用定期購入補助		
		②通学用ヘルメット購入補助		
	実績			
		達成度		
達成度(R3年度～R7年度累積)			%	
R7	計画	①通学用定期購入補助		
		②通学用ヘルメット購入補助		
	実績			
		達成度		
達成度(R3年度～R7年度累積)			%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	公共交通機関で通学する遠距離通学の児童・生徒について対象者全員に補助を行う。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	遠距離通学児童生徒の登下校時重大事故件数	0件
R3	実績 遠距離通学児童生徒の登下校時重大事故件数	0件
R4	実績 遠距離通学児童生徒の登下校時重大事故件数	0件
R5	実績 遠距離通学児童生徒の登下校時重大事故件数	件
R6	実績 遠距離通学児童生徒の登下校時重大事故件数	件
R7	実績 遠距離通学児童生徒の登下校時重大事故件数	件
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	遠距離通学する児童・生徒の公共交通機関の利用により、通学時の安全性が図れるとして上記目標とした。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	伯耆 紳介			25-6786	内線	3732

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	④23. 学校内における児童生徒の安全確保① ④24. 安全教育の推進	
②事業No.事業名	176. 178.安全教育				事業実施期間	R3 ~ R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

児童生徒が身の回りの危険を察知し、自らを守る行動がとれるよう、安全教育を推進する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	全小・中・義務教育学校で、避難訓練を実施		100%	
	実績	全小・中・義務教育学校で、避難訓練を実施		92%	
		達成度			92 %
		達成度(R3年度~R7年度累積)			18.4 %
R4	計画	全小・中・義務教育学校で、避難訓練を実施		100%	
	実績	全小・中・義務教育学校で、避難訓練を実施		100%	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度~R7年度累積)			38.4 %
R5	計画	全小・中・義務教育学校で、避難訓練を実施		100%	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度~R7年度累積)			%
R6	計画	全小・中・義務教育学校で、避難訓練を実施		100%	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度~R7年度累積)			%
R7	計画	全小・中・義務教育学校で、避難訓練を実施		100%	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度~R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 毎年度、実施することを予定している実績を、実施校数として定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	学校内での火災発生時の児童生徒の傷病者数:0人	0人
R3	実績 学校内での火災発生時の児童生徒の傷病者数:0人	0人
R4	実績 学校内での火災発生時の児童生徒の傷病者数:0人	0人
R5	実績 学校内での火災発生時の児童生徒の傷病者数:0人	
R6	実績 学校内での火災発生時の児童生徒の傷病者数:0人	
R7	実績 学校内での火災発生時の児童生徒の傷病者数:0人	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、日頃から、全校で訓練をすることが必要であると考え、実施の実績を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	教育総務課	係	総務係
担当者	野木 彰彦			25-5052	内線	3712

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	④23.学校内における児童生徒の安全確保②				
②事業No.事業名		177.学校安全対策委員会の設置			事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続		継続	④事業区分		補助	国補助率	-	府補助率	概ね1/2	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

セーフコミュニティの趣旨を踏まえ、学校、地域、保護者などが連携・協力して「安全見守り隊」「地域子ども出迎えデー」など子どもたちを見守る活動と安全指導を充実します。
 学校施設の防犯体制に万全を期し、児童生徒の安全安心を確保するため、地域の持つ力と人材を活用する地域ぐるみの学校安全対策委員会を設置し、その委員会をベースにした人選により各学校に常駐する学校安全対策協力員を配置しています。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	①地域子ども出迎えデーの実施、周知 ②学校安全対策協力員の配置	19,104,000	①毎週水曜実施、広報誌掲載 ②25校
	実績	①地域子ども出迎えデーの実施、周知 ②学校安全対策協力員の配置	19,098,000	①毎週水曜実施、広報誌掲載 ②25校
			達成度	100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	①地域子ども出迎えデーの実施、周知 ②学校安全対策協力員の配置	19,675,000	①毎週水曜実施、毎月広報誌掲載 ②25校
	実績	①地域子ども出迎えデーの実施、周知 ②学校安全対策協力員の配置	18,608,410	①毎週水曜実施、毎月広報誌掲載 ②25校
			達成度	100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	①地域子ども出迎えデーの実施、周知 ②学校安全対策協力員の配置	20,880,000	①毎週水曜実施、毎月広報誌掲載 ②24校
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	①地域子ども出迎えデーの実施、周知 ②学校安全対策協力員の配置		
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	①地域子ども出迎えデーの実施、周知 ②学校安全対策協力員の配置		
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 定量的な活動指標として地域子ども出迎えデーの実施回数及び広報回数並びに学校安全対策協力員の配置状況を指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	見守り活動に対する市民の意識向上及び防犯体制の充実を図るため、安全対策協力員の学校平均配置日数を成果指標とする。	14日/月以上
R3	実績 安全対策協力員の学校平均配置日数	179日 (約15日/月)
R4	実績 安全対策協力員の学校平均配置日数	180日 (約15日/月)
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、年間を通して継続した見守り活動及び協力員の配置が必要であり、協力員不足が事業停滞に繋がることから当該事業に対する市民の理解度が高くならなければならないと考えるため、協力員の配置日数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	伯耆 紳介			25-6786	内線	3732

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	④25. 児童生徒の安全確保のための情報発信				
②事業No.事業名	179. 学校安全メールシステム活用事業				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

児童生徒が不審者などの被害にあわないよう、関係機関との連携を図り、保護者などへ情報を発信する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	登録件数を伸ばすために取り組む広報周知活動	0	年1回以上	
	実績	登録件数を伸ばすために取り組む広報周知活動	0	年1回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	登録件数を伸ばすために取り組む広報周知活動	0	年1回以上	
	実績	登録件数を伸ばすために取り組む広報周知活動	0	年1回	
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R5	計画	登録件数を伸ばすために取り組む広報周知活動		年1回以上	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	登録件数を伸ばすために取り組む広報周知活動		年1回以上	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	登録件数を伸ばすために取り組む広報周知活動		年1回以上	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	児童生徒の入学、卒業に伴う児童生徒数の増減や、少子化による減少が想定される中、安全への意識を維持するため、学校安全メールへの登録を周知する活動を指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	安全メールの登録件数	6,900件
R3	実績 安全メールの登録件数	6,400件
R4	実績 安全メールの登録件数	6,400件
R5	実績 安全メールの登録件数	
R6	実績 安全メールの登録件数	
R7	実績 安全メールの登録件数	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	児童生徒の入学、卒業に伴う児童生徒数の増減や、少子化による減少が想定される中、安全への意識を維持するため、少なくとも、直近の令和2年度登録件数を維持することを目指し、毎年度同数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/係	室・部	教育部	課	教育総務課	係	施設係
担当者	小寺 風輝			0771-25-6766	内線	3715

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	426.感染症予防設備の充実		
②事業No.事業名	180.手洗い設備等設置事業				事業実施期間	R3	～	(突発的な要求に随時対応)
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

新型コロナウイルス等感染症を未然に防ぐため、手洗い設備などの充実に努めます。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	新型コロナウイルス等感染症対策として手洗い設備などの整備	-	各学校の要望に応じて
	実績	亀岡市立南桑中学校美術室手洗い増設	277,200	各学校の要望すべてに対応
			達成度	100 %
			達成度(R3年度～R7年度累積)	20 %
R4	計画	新型コロナウイルス等感染症対策として手洗い設備などの整備	-	各学校の要望に応じて
	実績	無し	-	令和4年度要望無し
			達成度	100 %
			達成度(R3年度～R7年度累積)	40 %
R5	計画	新型コロナウイルス等感染症対策として手洗い設備などの整備	-	各学校の要望に応じて
	実績			
			達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R6	計画	新型コロナウイルス等感染症対策として手洗い設備などの整備	-	各学校の要望に応じて
	実績			
			達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R7	計画	新型コロナウイルス等感染症対策として手洗い設備などの整備	-	各学校の要望に応じて
	実績			
			達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	教育施設整備として、学校施設等から設置要望があった際に、随時対応します。
------------------------	--------------------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	学校施設等管理者と連携を密にし、必要に応じて手洗い設備などの増設を図る。	要望箇所に対する施設整備実施率 100%
R3	実績 亀岡市立南桑中学校美術室手洗い増設	100%実施 1箇所/1箇所(施設整備/要望)
R4	実績 無し	- 0箇所/0箇所(施設整備/要望)
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	教育施設整備として、学校施設等から設置要望があった際に、随時対応します。
-----------------------	--------------------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	(R4) 新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が減少傾向にあること等の理由により、学校からの要望も減少していくものと考えられます。

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者	森川 周馬			直通	内線	3735

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	⑤ 27 就学援助の推進			
②事業No.事業名		181.要保護・準要保護児童生徒援助事業			事業実施期間	R3	～	R7	
③新規・継続		継続	④事業区分		補助	国補助率	1/2〔要保護のみ〕	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

経済的な理由で就学が困難な児童生徒の教育の機会均等を保障するため、生活保護世帯及び所得が生活保護基準額に準じる世帯の児童生徒を要保護・準要保護児童生徒と認定し、学用品費、学校給食費等の支給を行います。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	案内文の配布及び広報誌への掲載による就学援助制度の周知	0	・全児童・生徒への案内文通知 ・広報誌への掲載(新入学児童向け・年1回12月)
	実績	案内文の配布及び広報誌への掲載による就学援助制度の周知	0	・全児童・生徒への案内文通知 ・広報誌への掲載(新入学児童向け・年1回12月)
			達成度	100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	20 %	
R4	計画	案内文の配布及び広報誌への掲載による就学援助制度の周知	0	・全児童・生徒への案内文通知 ・広報誌への掲載(新入学児童向け・年1回12月)
	実績	案内文の配布及び広報誌への掲載による就学援助制度の周知	0	・全児童・生徒への案内文通知 ・広報誌への掲載(新入学児童向け・年1回12月)
			達成度	100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	40 %	
R5	計画	案内文の配布及び広報誌への掲載による就学援助制度の周知	0	・全児童・生徒への案内文通知 ・広報誌への掲載(新入学児童向け・年1回12月)
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%	
R6	計画	案内文の配布及び広報誌への掲載による就学援助制度の周知		・全児童・生徒への案内文通知 ・広報誌への掲載(新入学児童向け・年1回12月)
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%	
R7	計画	案内文の配布及び広報誌への掲載による就学援助制度の周知		・全児童・生徒への案内文通知 ・広報誌への掲載(新入学児童向け・年1回12月)
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	上記事業の実施を指標とする。
------------------------	----------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	生活保護世帯及び所得が生活保護基準額に準じる世帯の児童生徒に対し、学用品費、学校給食費等の支給を行う。	就学援助費の支給
R3	実績 要保護・準要保護児童生徒への就学援助費支給	就学援助費の支給
R4	実績 要保護・準要保護児童生徒への就学援助費支給	就学援助費の支給
R5	実績 要保護・準要保護児童生徒への就学援助費支給	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	上記事業の実施を指標とする。
-----------------------	----------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	みらい教育リサーチセンター	係	まなびサポート係
担当者	安藤 茂樹		直通	26-3916	内線	

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	⑤28. 教育相談事業の充実				
②事業No.事業名	182.教育相談事業				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

幼児・児童生徒の教育上の悩みをもつ保護者等に対し、教育相談員及び臨床心理士などが専門的な立場から助言及び援助を行う。中でも、不登校等児童生徒に心の居場所としての適応指導教室へ導ける支援体制を整え、自己肯定感の育成などへの支援、学校復帰や社会的自立への環境を整えて行く。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	学校訪問等による不登校等児童生徒の自立支援への対応	0	支援対応校:100%	
	実績	学校訪問等による不登校等児童生徒の自立支援への対応	0	支援対応校:100%	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	学校訪問等による不登校等児童生徒の自立支援への対応	0	支援対応校:100%	
	実績	学校訪問等による不登校等児童生徒の自立支援への対応	0	支援対応校:100%	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %	
R5	計画	学校訪問等による不登校等児童生徒の自立支援への対応	0	支援対応校:100%	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	学校訪問等による不登校等児童生徒の自立支援への対応	0	支援対応校:100%	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	学校訪問等による不登校等児童生徒の自立支援への対応	0	支援対応校:100%	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

不登校等の児童生徒の在籍する学校に対し、学校訪問などを行った学校の割合。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	不登校等児童生徒のうち、家庭内などに留まらず、心の居場所としての役割等を担う適応指導教室の利用率	利用率 14%
R3	実績 不登校等児童生徒のうち、家庭内などに留まらず、心の居場所としての役割等を担う適応指導教室の利用率	利用率 12.6%
R4	実績 不登校等児童生徒のうち、家庭内などに留まらず、心の居場所としての役割等を担う適応指導教室の利用率	利用率 9.7%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	不登校等の児童生徒のうち、学校訪問を通じて、心の居場所としての役割等を担う適応指導教室につなげることでできた児童生徒の割合。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3) 学校訪問時だけでなく、継続した学校連携を行うことにより、より多くの不登校等児童生徒を教育相談・適応指導教室につなげる。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	みらい教育リサーチセンター	係	まなびサポート係
担当者	山本 正人		直通	26-3916	内線	

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	⑤29. 適応指導教室の充実				
②事業No.事業名		183.適応指導教室による不登校児童生徒支援事業			事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

不登校などで悩む児童生徒に対し、本来校・関係機関との連携、教育相談員や臨床心理士によるカウンセリング等を通じて、心のケアをはじめ自主性・集団への適応力等を育み、自己肯定感育成のための支援、学校復帰や社会的自立への環境を整える。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	適応指導教室開設による不登校等児童生徒への支援	137,000	145日	
	実績	適応指導教室開設日数	119,663	145日	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	適応指導教室開設による不登校等児童生徒の支援	214,000	145日	
	実績	適応指導教室開設による不登校等児童生徒の支援	495,335	155日	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %	
R5	計画	適応指導教室開設による不登校等児童生徒の支援	214,000	145日	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	適応指導教室開設による不登校等児童生徒の支援	214,000	145日	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	適応指導教室開設による不登校等児童生徒の支援	214,000	145日	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	不登校等児童生徒への支援のための適応指導教室の開設日数(年間)。
------------------------	----------------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	適応指導教室通級を通じて希望進路達成生徒及び本来校への就学児童生徒の割合。	希望進路達成者生徒 100% 本来校就学児童 80% 本来校就学生徒 80%
R3	実績 適応指導教室通級を通じて希望進路達成生徒及び本来校への就学児童生徒の割合。	希望進路達成者生徒 100% 本来校就学児童 80% 本来校就学生徒 80%
R4	実績 適応指導教室通級を通じて希望進路達成生徒及び本来校への就学児童生徒の割合。	希望進路達成者生徒 100% 本来校就学児童 63% 本来校就学生徒 46%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	適応指導教室通級児童生徒に対し、希望進路達成生徒及び本来校への就学児童生徒の割合(令和元年度、令和2年度の平均値)。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者	関沢 憲史			25-5002	内線	2233

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	㊦30. 循環型生涯学習社会の推進				
②事業No. 事業名	184. 市民の持つ技術や知識、人脈、ノウハウを活用する仕組み作りの促進				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

すべての人々の生涯学習の機会を促進するため、市民の持つ技術や知識、人脈、ノウハウを地域の課題解決や活性化等、社会に還元する仕組みとしてのガレリアかめおか人材バンクを充実させることにより、市民の学習環境のさらなる整備を図ります。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	ガレリアかめおか人材バンクの活用のための基盤整備(人材バンク登録者数)	0	44人	
	実績	人材バンク登録者数	0	44人	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	ガレリアかめおか人材バンクの活用のための基盤整備(人材バンク登録者数)	0	46人	
	実績	人材バンク登録者数	0	38人	
		達成度		82.6 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		36.5 %	
R5	計画	ガレリアかめおか人材バンクの活用のための基盤整備(人材バンク登録者数)	0	48人	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	ガレリアかめおか人材バンクの活用のための基盤整備(人材バンク登録者数)	0	50人	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	ガレリアかめおか人材バンクの活用のための基盤整備(人材バンク登録者数)	0	52人	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	生涯学習に関する様々な分野において、指導、相談などを行う技能と意欲を持った方のガレリアかめおか人材バンクへの登録者数を定量的な活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	人材バンクの利用件数	年間5件
R3	実績 人材バンクの利用件数	0件
R4	実績 人材バンクの利用件数	1件
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業の達成には、生涯学習を始めようとする方に人材バンクに登録されている方を紹介する仕組みの活用が必要であり、利用実績を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

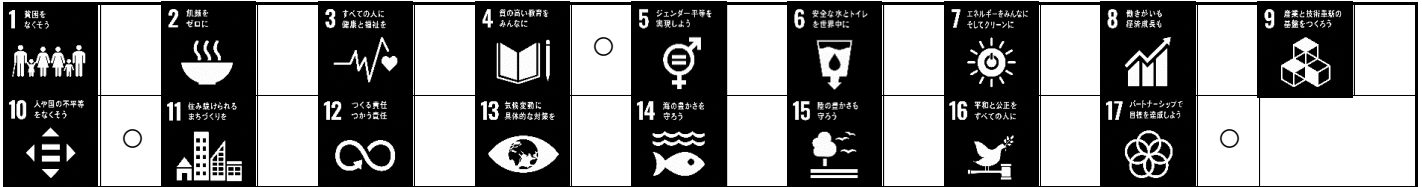
達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	(R3)令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、利用がなかった。 (R4)人材バンクの利用が少ないことや、登録者の高齢化などの影響で、登録者数自体が減少している。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者	関沢 憲史			25-5002	内線	2233

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	㊦31. 三大シンボル講座など学習機会の充実①				
②事業No.事業名	185. 生涯学習機会の充実				事業実施期間	R3		～	R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-		府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

すべての人々の生涯学習の機会を促進するため、「コレージュ・ド・カメオカ」、「亀岡生涯学習市民大学」、「丹波学トーク」の三大シンボル講座など生涯学習機会の充実を図ります。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組		事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	三大シンボル講座の開催	コレージュ・ド・カメオカ 年2回 亀岡生涯学習市民大学 年8回 丹波学トーク 年3回	
	実績	三大シンボル講座の開催	コレージュ・ド・カメオカ 年0回 亀岡生涯学習市民大学 年7回 丹波学トーク 年3回	
		達成度		62.5 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		12.5 %
R4	計画	三大シンボル講座の開催	コレージュ・ド・カメオカ 年2回 亀岡生涯学習市民大学 年8回 丹波学トーク 年3回	
	実績	三大シンボル講座の開催	コレージュ・ド・カメオカ 年2回 亀岡生涯学習市民大学 年10回 丹波学トーク 年2回	
		達成度		88.9 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		30.3 %
R5	計画	三大シンボル講座の開催	コレージュ・ド・カメオカ 年2回 亀岡生涯学習市民大学 年8回 丹波学トーク 年3回	
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	三大シンボル講座の開催	コレージュ・ド・カメオカ 年2回 亀岡生涯学習市民大学 年8回 丹波学トーク 年3回	
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	三大シンボル講座の開催	コレージュ・ド・カメオカ 年2回 亀岡生涯学習市民大学 年8回 丹波学トーク 年3回	
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 毎年度、開催している三大シンボル講座の開催実績を定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	三大シンボル講座の参加者数	4300人
R3	実績 三大シンボル講座の参加者数 (コレッジ・ド・カメオカ 0人、亀岡生涯学習市民大学 614人、丹波学トーク 176人)	790人
R4	実績 三大シンボル講座の参加者数 (コレッジ・ド・カメオカ 148人、亀岡生涯学習市民大学 1,435人、丹波学トーク 71人)	1,654人
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業の達成には、より多くの人に三大シンボル講座に参加いただくことが必要であり、参加者数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者	関沢 憲史			25-5002	内線	2233

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	□31. 三大シンボル講座など学習機会の充実②				
②事業No.事業名		186. 情報の蓄積と発信による効率的・効果的な運営			事業実施期間	R3		～	R7	
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	-		府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう		
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう			

⑦事業の概要及び目的

すべての人々の生涯学習の機会を促進するため、公益財団法人 生涯学習かめおか財団との連携を強化し、効率的・効果的な運営を図ります。

⑧活動指標（アウトプット指標）

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催
	実績	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催
		達成度		
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催
	実績	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催
		達成度		
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催
	実績			
		達成度		
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催
	実績			
		達成度		
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催
	実績			
		達成度		
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方 効率的・効果的な運営を図るため、公益財団法人 生涯学習かめおか財団との連絡調整会議の開催を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	三大シンボル講座の参加者数	4300人
R3	実績 三大シンボル講座の参加者数 (コレッジ・ド・カメオカ 0人、亀岡生涯学習市民大学 614人、丹波学トーク 176人)	790人
R4	実績 三大シンボル講座の参加者数 (コレッジ・ド・カメオカ 148人、亀岡生涯学習市民大学 1,435人、丹波学トーク 71人)	1,654人
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	効率的・効果的に生涯学習講座を運営・情報発信したことによる成果として参加者数の増加を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者	関沢 憲史			直通	25-5002	内線 2233

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	□32. 学習活動に関わる情報の受発信				
②事業No. 事業名		187. 学習活動に関する情報を受発信できる仕組みの検討、充実			事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

すべての人々生涯学習の機会を促進するため、市内で活動している市民団体の取り組みについて、市の広報誌やホームページに掲載する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組		事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	広報誌やホームページにおける後援事業の掲載	0	
	実績	広報誌やホームページにおける後援事業の掲載	0	
		達成度		後援団体 40団体
		達成度(R3年度～R7年度累積)		延べ25団体 62.5 % 12.5 %
R4	計画	広報誌やホームページにおける後援事業の掲載	0	
	実績	広報誌やホームページにおける後援事業の掲載	0	
		達成度		後援団体 40団体
		達成度(R3年度～R7年度累積)		延べ23団体 57.5 % 24 %
R5	計画	広報誌やホームページにおける後援事業の掲載	0	
	実績			
		達成度		後援団体 40団体
		達成度(R3年度～R7年度累積)		% %
R6	計画	広報誌やホームページにおける後援事業の掲載	0	
	実績			
		達成度		後援団体 40団体
		達成度(R3年度～R7年度累積)		% %
R7	計画	広報誌やホームページにおける後援事業の掲載	0	
	実績			
		達成度		後援団体 40団体
		達成度(R3年度～R7年度累積)		% %

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 市民団体からの後援申請について、申請団体数を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	後援事業	70事業
R3	実績 後援事業	44事業
R4	実績 後援事業	48事業
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	市民団体の後援事業実施数を成果指標とする。
-----------------------	-----------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	(R3) 実績について、年度をまたぐ申請があったことで、計上に誤りがあった。
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者	関沢 憲史			25-5002	内線	2233

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	㊦33. 梅岩の里生誕地整備の推進①			
②事業No.事業名	188. 梅岩の里生誕地整備事業の推進				事業実施期間	R3	～	R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 エネルギーをゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

すべての人々の生涯学習の機会を促進するため、誠実に働きながら独学で研鑽を重ね、庶民の日常生活の中での道徳の実践を説き、「心学」として大成した石田梅岩の生き様を学ぶ学習施設整備を推進します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	施設の実施設計	13,759,193	実施設計
	実績	施設の実施設計	13,759,193	実施設計
			達成度	100 %
			達成度(R3年度～R7年度累積)	25 %
R4	計画	管理運営方法の検討	0	管理運営方法の検討
	実績	管理運営方法の検討 既存記念館の除却	897,000	管理運営方法の検討 既存記念館の除却
			達成度	100 %
			達成度(R3年度～R7年度累積)	40 %
R5	計画	造成工事	14,585,000	造成工事
	実績			
			達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R6	計画	建築工事		建築工事
	実績			
			達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R7	計画	外構整備、記念館オープン		外構整備 記念館オープン
	実績			
			達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	全世代が活用できる生涯学習施設の整備を行う。
------------------------	------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	令和7年度施設完成	進捗率100%
R3	実績 実施設計	進捗率25%
R4	実績 管理運営手法の検討 既存記念館の除却	進捗率40%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	施設の完成を100%として、進捗率を指標とする。
-----------------------	--------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	(R4)ふるさと納税を財源として施設整備を進めているが、建設資材等の高騰により工事費が増加しており、財源が不足することから、完成年度を令和6年度から令和7年度に延長する。
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者	関沢 憲史		直通	25-5002	内線	2233

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	㊦33. 梅岩の里生誕地整備の推進②				
②事業No.事業名	189. 関係団体との連携による研究				事業実施期間	R3		～	R6	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-		府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

すべての人々の生涯学習の機会を促進するため、誠実に働きながら独学で研鑽を重ね、庶民の日常生活の中での道徳の実践を説き、「心学」として大成した石田梅岩の生き様を学ぶ学習施設を適正に管理、活用するため市民、自治会、関係団体などと連携して調査研究を行い、施設完成に合わせて、条例制定、指定管理者の指定を目指します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	類似施設の調査研究	0	研究した類似施設 10施設	
	実績	類似施設の調査研究	0	研究した類似施設 12施設	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		25 %	
R4	計画	類似施設の調査研究	0	研究した類似施設 10施設	
	実績	類似施設の調査研究	0	研究した類似施設 10施設	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		50 %	
R5	計画	類似施設の調査研究	0	研究した類似施設 10施設	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	類似施設の調査研究、適正管理と活用方法の確立	0	研究した類似施設 10施設	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画				
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	施設利用促進に関する協議と指定管理を念頭に置いた類似施設の調査研究件数を指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	施設完成後の施設の適正利用、適正管理を目的とした条例制定と指定管理者の選定を目指す。	進捗率100%
R3	実績 類似施設の調査研究	進捗率25%
R4	実績 類似施設の調査研究 建設委員会での協議検討	進捗率50%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	令和6年度の施設完成後の適正利用、適正管理を目的とした条例制定、指定管理者の選定を100%とし、進捗率を指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者	関沢 憲史			25-5002	内線	2233

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	②34. 計画的な施設・設備の修繕・更新				
②事業No.事業名	190. ガレリアかめおか長寿命化事業の推進及び適切な維持管理				事業実施期間	R3		~	R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-		府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

すべての人々の生涯学習の機会を促進するため、生涯学習活動の拠点である「ガレリアかめおか」の計画的な施設・設備の修繕・更新を推進します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	大規模修繕の計画的な実施	422,866,400	大規模修繕の実施
	実績	大規模修繕の計画的な実施	422,866,400	大規模修繕の実施
	達成度			100 %
	達成度(R3年度~R7年度累積)			20 %
R4	計画	大規模修繕の計画的な実施	7,716,500	大規模修繕に向けた実施設計
	実績	大規模修繕の計画的な実施	7,716,500	大規模修繕に向けた実施設計
	達成度			100 %
	達成度(R3年度~R7年度累積)			40 %
R5	計画	大規模修繕の計画的な実施	19,305,000	大規模修繕の実施
	実績			
	達成度			%
達成度(R3年度~R7年度累積)			%	
R6	計画	大規模修繕の計画的な実施		大規模修繕の実施
	実績			
	達成度			%
	達成度(R3年度~R7年度累積)			%
R7	計画	大規模修繕の計画的な実施		大規模修繕の実施
	実績			
	達成度			%
達成度(R3年度~R7年度累積)			%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	個別施設計画に基づき、令和27年度までの計画的な施設修繕・更新を活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	大規模改修の計画的な実施	進捗率100%
R3	実績 建築工事（屋上防水、天井改修、外壁改修、塗装等） 電気工事（電灯設備改修、火災報知設備改修等） 施設工事（給水ポンプ更新、空調設備改修等）	進捗率20%
R4	実績 大広間改修、二酸化炭素消火設備更新、機械室空調更新等実施設計	進捗率40%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	個別施設計画に定める令和7年度末時点の修繕状況を100%として、進捗率を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者	大槻 美倭			25-5054	内線	3753

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	③35.家庭教育の支援		
②事業No.事業名	191.家庭教育支援事業				事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	1/3	府補助率	1/3	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

家庭教育はすべての教育の出発点であり、基本的な生活習慣の確立や、豊かな心や他人に対する思いやりをはぐくむ上で重要な役割を担っている。また、子どもが「主体的に学び考える力」・「多様な人とつながる力」・「新たな価値を生み出す力」など様々な力をはぐくみ発揮していくためには、見守られ、信頼され、期待されているなどの「包み込まれているという感覚」を実感できることが大切であり、家庭はその基礎を築く場としても重要である。こうした役割を持つ家庭の教育力を高めるため、親やその家族に対し、家庭教育に関する情報及び学習機会の提供を行い、親子の絆を深め、家庭の教育力を向上することを目的として、子育て・親育ち講座を実施している。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組		事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	家庭教育支援事業“子育て・親育ち講座”の実施	年8回
	実績	家庭教育支援事業“子育て・親育ち講座”の実施(市立幼稚園:2講座、市立保育所:3講座、地域の教育機能を活用した講座:1講座、社会教育関係団体との連携、協働による講座:2講座)	年8回
		達成度	100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	20 %
R4	計画	家庭教育支援事業“子育て・親育ち講座”の実施	年8回
	実績	家庭教育支援事業“子育て・親育ち講座”の実施(市立幼稚園:2講座、市立保育所・子ども園:4講座、地域の教育機能を活用した講座:1講座、社会教育関係団体との連携、協働による講座:2講座、他課との共催講座:1講座)	年10回
		達成度	100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	40 %
R5	計画	家庭教育支援事業“子育て・親育ち講座”の実施	年8回
	実績		
		達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R6	計画	家庭教育支援事業“子育て・親育ち講座”の実施	年8回
	実績		
		達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R7	計画	家庭教育支援事業“子育て・親育ち講座”の実施	年8回
	実績		
		達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

幼稚園、保育所やこども園と連携したり、地域の教育機能等を生かして年間8講座の開催実績を定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	受講者にアンケートを行い、自身の子育てに活かしたい具体的な内容が得られたと答えた人の割合	70%以上
R3	実績 受講者にアンケートを行い、自身の子育てに活かしたい具体的な内容が得られたと答えた人の割合	96%
R4	実績 受講者にアンケートを行い、自身の子育てに活かしたい具体的な内容が得られたと答えた人の割合	91.95%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業の目的が達成されるためには、参加人数で測るのではなく、講座に参加した人にとって講座内容が日々の子育てに密着したものであり、家庭や日々の子育てに対して新たな気づきをもたらすとともに、生かされるものでなければならないので、受講者に対するアンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R4)活動指標としては、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながらも多くの子どもや保護者に学びの機会を提供するため、1会場あたりの定員は減らしたが、講座数を増やして実施した。また、子育て支援課と共催で講座を実施したり、開催を土曜日にするなど参加者がなるべく参加しやすく、人が集まりやすいように工夫をした。成果指標においても、90%以上の高い成果指標値を得ることができた。
進行上の課題や問題点	(R4) 亀岡市公式LINEや広報かめおかでお知らせをしたり、関係機関にチラシを置くなどの方法で周知を図ったが、参加者の中には「当日たまたま会場周辺を通ったから参加することができたが、もっと早くから知りたかった。」という意見もあり、より子育て中の市民や関係者に本事業を知ってもらう方法を検討する必要がある。コロナ禍で孤立化していた、子育て層を再び繋ぐ役割を担えるよう努めていきたい。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者	大槻 美倭		直通	25-5054	内線	3753

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	[3]36.学びの機会や情報の提供促進				
②事業No.事業名	192.生涯学習推進事業(亀岡市さわやか教室)				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

おおむね60歳以上の亀岡市民を対象にふれあいを深めながら楽しく学ぶことを通じて、学習意欲と教養の向上、生きがいの創造、仲間づくりを進める。また、より良い生活設計や社会参加のために必要な知識を得ることで社会的な能力を高め、家庭や地域社会で活かせるようにすることを目指し、「亀岡市さわやか教室」を開設している。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	亀岡市さわやか教室の実施	664,000	年5回	
	実績	亀岡市さわやか教室の実施	617,275	年5回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	亀岡市さわやか教室の実施	590,000	年5回	
	実績	亀岡市さわやか教室の実施	506,605	年5回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %	
R5	計画	亀岡市さわやか教室の実施	664,000	年5回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	亀岡市さわやか教室の実施		年5回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	亀岡市さわやか教室の実施		年5回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 亀岡市さわやか教室運営委員と協議しながら、毎年度の開催方法等は検討するが、年間5講座の開催実績を定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	受講者にアンケート調査を行い、日々の生活に活かしたい具体的な内容が得られたと答えた人の割合	80%以上
R3	実績 受講者にアンケート調査を行い、日々の生活に活かしたい具体的な内容が得られたと答えた人の割合	94%
R4	実績 受講者にアンケート調査を行い、日々の生活に活かしたい具体的な内容が得られたと答えた人の割合	97%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業の目的が達成されるためには、参加人数で測るのではなく、講座に参加した人にとって講座内容が日々の生活に密着したものであり、講座で学んだことを地域間で共有しあったり、日々の生活に生かしたいと思える内容でなければならないため、受講者に対するアンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R4)第1講座については、遠方の講師と会場をZoomで繋いで講座を行うといった新たな手法を用いて開催した。講座内容は、音楽や食育などを通して生活を豊かにするという視点を入れた講座を実施し、成果指標において高い指標値を得ることができた。
進行上の課題や問題点	(R4)令和2年度以降、新型コロナウイルスにより事業の中止や変更等をせざるを得なかった。高齢者の皆さんは新型コロナ感染への警戒感が大変強く、例年の参加者であっても来られなくなった方があった。今後も高齢者の学びを支えるべく、開催方法や周知方法等についてより工夫する。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者	岡田 美里		直通	25-5054	内線	3752

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	[3]36.学びの機会や情報の提供促進				
②事業No.事業名	193.生涯学習推進事業(障がい者成人学級)				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

障がいのある人の社会参加や市民との交流を図ることを目的に、視覚障がい者、聴覚障がい者、知的障がい者を対象とした障がい者成人学級を継続して実施し、また、様々な障がいに合った活動内容を考え、文化活動、生涯学習活動等、豊かな経験ができるように実施する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	障がい者成人学級の実施	2,581,000	年73回	
	実績	障がい者成人学級の実施	2,523,805	年60回	
		達成度			82 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			16 %
R4	計画	障がい者成人学級の実施	2,688,000	年73回	
	実績	障がい者成人学級の実施	2,662,705	年72回	
		達成度			98.6 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			35 %
R5	計画	障がい者成人学級の実施		年73回	
	実績	障がい者成人学級の実施			
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	障がい者成人学級の実施		年73回	
	実績	障がい者成人学級の実施			
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	障がい者成人学級の実施		年73回	
	実績	障がい者成人学級の実施			
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	毎年度、知的障がい者学級、聴覚障がい者学級、視覚障がい者学級開催実績を定量的な活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	学級生にアンケート調査を行い、参加したことにより生活が充実したと答えた人の割合	75%
R3	実績 学級生にアンケート調査を行い、参加したことにより生活が充実したと答えた人の割合	—
R4	実績 学級生にアンケート調査を行い、参加したことにより生活が充実したと答えた人の割合	97%
R5	実績 学級生にアンケート調査を行い、参加したことにより生活が充実したと答えた人の割合	
R6	実績 学級生にアンケート調査を行い、参加したことにより生活が充実したと答えた人の割合	
R7	実績 学級生にアンケート調査を行い、参加したことにより生活が充実したと答えた人の割合	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業の目的が達成されるためには、参加人数で測るのではなく、学級の活動内容が、学級生の日々の生活が充実することにつながる内容でなければならないため、受講者に対するアンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)障がい者成人学級ごとに参加者のニーズを聴き取り、実施内容の検討を運営委員会でを行うことにより、内容の充実を図り、継続した参加を得られた。 新型コロナウイルス感染症防止等の対策を適切に行い、参加者の安全・安心を確保し、講座を行った。
進行上の課題や問題点	(R4)年々、ボランティアが減少しており、学級生の安全面を考えたうえで、市民活動・ボランティアなどの連携による支援体制の充実が必要。 新たな学級生の増加に向け、令和5年度は広報を積極的に進める。 (R3)各障がいの特性上、学級生に一律の筆記式のアンケートを取るのが難しいが、令和4年度からアンケートを実施し、成果指標に設定した割合を定量的に算出できるようにする
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者	大槻 美倭			25-5054	内線	3753

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	③37.地域全体で子どもたちを育む環境づくりの推進				
②事業No.事業名	194.地域学校協働活動推進事業				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	1/3	府補助率	1/3			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

地域における様々な教育機能が連携し、子どもたちの成長を支援することを目的とし、地域の組織や団体、保護者、ボランティアなどと協力して地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進するため、市内23地区において「地域学校協働活動推進事業」を委託事業として実施する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	「地域学校協働活動推進事業」の実施	1,995,000	市内23地区	
	実績	「地域学校協働活動推進事業」の実施	1,758,940	市内20地区	
		達成度		87 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		17.4 %	
R4	計画	「地域学校協働活動推進事業」の実施	2,091,200	市内23地区	
	実績	「地域学校協働活動推進事業」の実施	1,836,640	市内23地区	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		37.4 %	
R5	計画	「地域学校協働活動推進事業」の実施	2,091,200	市内23地区	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	「地域学校協働活動推進事業」の実施		市内23地区	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	「地域学校協働活動推進事業」の実施		市内23地区	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 亀岡市内地域全域である23地区で実施することを活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	地域で子どもを育てる機運が高まったと感じる地域の割合	75%以上
R3	実績 地域で子どもを育てる機運が高まったと感じる地域の割合	-
R4	実績 地域で子どもを育てる機運が高まったと感じる地域の割合	78%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業の目的が達成されるためには、地域学校協働活動推進本部にアンケートを行い、地域学校協働活動推進事業に関わった大人が子どもたちに関心を向け、地域全体で子どもを育てたいという機運につながったかを測る必要があるため、アンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R4)今年度は、各地区の地域学校協働本部に対し、有償で講師を依頼するのではなく、なるべく地域からボランティアを集めて、実施していただくよう強く呼びかけた。その結果、講師謝金を減額し、その分を他の費用に充てて、新しい取り組みにチャレンジする地区があった。限られた予算の中で充実した取り組みができるようサポートしていくことが達成度の上昇に繋がった。
進行上の課題や問題点	(R4)令和5年度からは順次、コミュニティスクールが各校に導入されるため、学校運営協議会と地域学校推進本部が連携し、地域と学校が一体となって子どもたちを育てる環境を作ることが課題である。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者	大槻 美倭		直通	25-5054	内線	3753

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	[3]38.地域における学習支援などの推進				
②事業No.事業名	195. 亀岡市地域未来塾				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	1/3	府補助率	1/3			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

中学生を対象として、大学生や教員OBなどの地域住民等の協力を得て無料の学習支援(地域未来塾)を行い、学習習慣の定着と学力の向上を図る。また、地域の幅広い人材の参画を得て実施することにより、地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもの成長を支えていく活動を推進する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	「地域未来塾」の実施	1,171,000	300時間
	実績	「地域未来塾」の実施	548,037	271時間
		達成度		90 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		18 %
R4	計画	「地域未来塾」の実施	1,173,000	600時間
	実績	「地域未来塾」の実施	679,950	315時間
		達成度		53 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		28.6 %
R5	計画	「地域未来塾」の実施	1,173,000	600時間
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	「地域未来塾」の実施		600時間
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	「地域未来塾」の実施		600時間
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

「地域未来塾」の実施により学習習慣の定着と学力の向上を図ることを目的とするため、実施時間を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	地域未来塾の実施により、学力・進路に関し成果があったと答えた学校の割合	100%以上
R3	実績 地域未来塾の実施により、学力・進路に関し成果があったと答えた学校の割合	—
R4	実績 地域未来塾の実施により、学力・進路に関し成果があったと答えた学校の割合	100%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業の目的が達成されるためには、地域未来塾を実施した各学校にアンケートを行い、地域未来塾を実施したことにより、子どもたちの学力の向上や、進路の決定等に前向きな変化があったかを測る必要があるため、アンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R4)元教員や教育関係の大学生など、指導の経験がある学習支援員に依頼し、個人のペースに合わせて学習指導を行った。地域未来塾を受けた生徒から、「普段の授業の中で疑問に思ったことや分からなかったことをその場では質問しにくいですが、地域未来塾の中で個別に学習支援員に質問できるのがうれしい」という感想があり、個別指導型が子どもたちの安心した学習環境に繋がっていることが分かった。
進行上の課題や問題点	(R4)学習支援員の都合により、実施時間数が計画時よりも大幅に減った学校があった。減った理由としては学習支援員の急用によることで仕方がないが、子どもたちの学習時間をしっかり確保できるよう調整をする必要がある。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者	関沢 憲史			25-5002	内線	2233

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	④39. 人生100年時代の生涯学習の研究①			
②事業No.事業名	196. 生涯学習施設の充実・整備				事業実施期間	R3	～	R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 包摂的な成長を促進しよう	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⑦事業の概要及び目的

すべての人々の生涯学習の機会を促進するため、生涯学習施設の充実・整備について、指定管理者である一般社団法人かめおかコンベンションビューロー及び生涯学習事業推進団体である公益財団法人生涯学習かめおか財団と連携を図ります。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催	
	実績	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			20 %
R4	計画	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催	
	実績	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			40 %
R5	計画	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	連絡調整会議の開催	0	連絡調整会議 年12回開催	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	指定管理者及び(公財)生涯学習かめおか財団との連携を強めるため、連絡調整会議の開催を指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	生涯学習施設の充実、整備を図ることで、ガレリアかめおか来館者数の増加を図る。	来館者数 650,000人
R3	実績 ガレリアかめおか来館者数の増加を図る。	来館者数 364,752人
R4	実績 ガレリアかめおか来館者数の増加を図る。	来館者数 461,449人
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	ガレリアかめおかの来館者数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	----------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	図書館	係	
担当者	藤原 弘樹		直通	24-4710	内線	

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	④39. 人生100年時代の生涯学習の研究				
②事業No. 事業名		197. 人と蔵書と施設環境の充実を通じた図書館の利便性向上と魅力づくり			事業実施期間	R4	～	R7		
③新規・継続		新規	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

人生100年時代をきりひろく市民力を支えるため、市民にとって身近な学習拠点かつ文化創造拠点となりうる図書館の充実・整備について研究し、施設の老朽化への対応、閲覧スペースの整備及び蔵書のさらなる充実を果たす「みらい図書館」のあり方を考えます。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画			
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R4	計画	市民へのワークショップを基に市民への利便性向上のためのコンサルティングを実施し、基本設計・実施設計を作成する	8,000,000	市民へのワークショップ 基本設計・実施設計の作成
	実績	市民へのワークショップを基に市民への利便性向上のためのコンサルティングを実施し、基本設計・実施設計を作成する	7,975,000	市民へのワークショップ 基本設計・実施設計の作成
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		25 %
R5	計画	基本設計・実施設計を基にリニューアル工事を実施し、市民への利便性向上と図書館機能を充実させる。	334,586,000	リニューアル工事の実施
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	中央館リニューアルの完了形を踏まえ、図書館のサービス・利便性の向上のため、蔵書の充実と人材の確保について、研究を進める。	-	他市図書館の取組を調査 リニューアル後の人材確保の課題集約
	実績			
		達成度		%
		達成度(R6年度～R7年度累積)		%
R7	計画	中央館リニューアルの完了形を踏まえ、図書館のサービス・利便性の向上のため、蔵書の充実と人材の確保について、研究を進める。		みらい図書館のあり方 研究報告書作成
	実績			
		達成度		%
		達成度(R6年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	第2次亀岡市教育振興基本計画の「基本目標1 みらい教育の創造」の「⑦市民力を支える図書館の充実・整備の研究」とリンクした事業であり、同計画の目標年度となる令和8年度の「みらい図書館のあり方研究報告書」の作成に向け、研究活動を継続する。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	令和8年度の「みらい図書館のあり方研究報告書」の作成に向け、研究活動を継続する。	「みらい図書館のあり方研究報告書」の作成（第2次亀岡市教育振興基本計画の基本目標に関する成果指標）
R3	実績	
R4	実績 図書館のリニューアルに関する市民ワークショップの実施 基本設計・実施設計の作成	市民へのワークショップ実施 基本設計・実施設計の作成
R5	実績 リニューアル工事の実施	
R6	実績 図書館のサービス・利便性の向上のため、蔵書の充実と人材の確保について研究 ・調査協力図書館の件数（京都市を除く） ・人材確保の課題集約	
R7	実績 図書館のサービス・利便性の向上のため、蔵書の充実と人材の確保について研究 ・図書館の取組経過まとめ ・人材確保の課題分析 ・報告書作成作業	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	第2次亀岡市教育振興基本計画の「基本目標I みらい教育の創造」の「⑦市民力を支える図書館の充実・整備の研究」とリンクした事業であり、同計画の目標年度となる令和8年度の「みらい図書館のあり方研究報告書」の作成に向け、研究活動を継続して、成果を積み上げていく。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3) 亀岡市立図書館の中心となる中央館の施設・空間を先行的にリニューアルし、生涯学習都市・亀岡を文化の薫る住みよいまちにするために、先進図書館を手掛けた実績を有する外部へのコンサルティング業務委託を活用して、その専門的知見により、現在の限られた図書館空間をどう有効活用していくかを見出す過程で、目指す図書館のみらいのあり方を見定めていく。
進行上の課題や問題点	(R3) 亀岡市立図書館の充実・整備の研究のあと、できるだけ早いタイミングで、図書館のサービス・利便性の向上を実践に移し、蔵書の充実と人材確保を図りながら「市民の誇りと感じる図書館」を築くことで、生涯学習都市・亀岡の生涯学習・文化を支える社会教育施設として、読書の機会の提供を通じ、市民に寄り添う「人生100年時代の図書館」を早急に実現していかなければならない。
変更した理由	
その他	(R3) コンサルティングとその工事を通じて創造していく図書館中央館のリニューアルを実施することにまずは専念し、その成果を呼び水として、総合計画に定める当該研究事業を、より実効性の高いものへとつなげていきたい。

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	図書館	係
担当者	山本 美幸、荒木 順子		直通	24-4710	内線

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	⑤40. 図書館サービスの充実			
②事業No.事業名	198. 図書館ホームページの充実				事業実施期間	R3	～	R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

平成6年に図書館電算システムを導入し、全館をネットワーク化しました。その後5年毎に更新を行いサービスの充実を図っています。図書館電算システムにより、ホームページや予約サービス等の充実も図ることができており今後も、市民サービスの充実のために利用者の要望に応えるためにホームページの改善を進め市民ニーズに応えていく。市民ニーズに応えることは質の高い教育の機会を与えることに繋がる。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	図書館電算システム継続	7,164,000	継続	
	実績	図書館電算システム継続	7,072,233	継続	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			20 %
R4	計画	図書館電算システム継続	7,219,000	継続	
	実績	図書館電算システム継続	7,161,021	継続	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			40 %
R5	計画	図書館電算システム継続	7,219,000	継続	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	図書館電算システムの更新		更新	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	図書館電算システム継続		継続	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

図書館電算システムの継続及び令和6年度の図書館電算システムの更新

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	WEBの予約件数	34,000件
R3	実績 WEBの予約件数	29,533件
R4	実績 WEBの予約件数	30,314件
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	図書館電算システムを活用したWEBによる図書予約件数
-----------------------	----------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)中央館と分館に同じシステムを導入している。システムの操作方法を共通認識し、図書の貸出・返却の円滑な対応、利用者の図書の予約の対応にも円滑な貸出につなげた。ホームページは、新刊図書、お薦め本などのPR、図書館の行事やボランティアによる読み聞かせ会の案内も、積極的に活用した。
進行上の課題や問題点	(R3) ・ホームページの活用は、市民ニーズに応えるための機能の充実が必要。 ・スマートフォンからのアクセス機能の充実が課題。
変更した理由	
その他	(R3) 中央館のリニューアルに合わせて、システムの更新を検討していく。

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	図書館	係
担当者	荒木 順子、山本 美幸		直通	24-4710	内線

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	⑤41. 図書資料などの充実				
②事業No.事業名	199. 郷土資料の充実				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

市民の多様な要望に応えられるよう、幅広い資料を計画的に収集を行い充実を図ります。地域の資料である郷土資料等の収集を務め、資料提供の環境を整え、レファレンス(参考業務)に対応できる図書館を目指す。図書館の充実が市民へ質の高い教育の機会を与えることに繋がる

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	図書(一般書)の購入	5,500,000		
	実績	図書(一般書)の購入	5,499,960	3,522冊	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			20 %
R4	計画	図書(一般書)の購入	5,500,000	3,522冊	
	実績	図書(一般書)の購入	5,499,996	3,413冊	
		達成度			97 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			39.4 %
R5	計画	図書(一般書)の購入	6,000,000	3,800冊	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	図書(一般書)の購入	6,500,000	4,100冊	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	図書(一般書)の購入	7,000,000	4,400冊	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	毎年度、図書(一般書)の購入費の増額
------------------------	--------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	年間貸出冊数	416,000冊
R3	実績 年間貸出冊数	390,554冊
R4	実績 年間貸出冊数	380,558冊
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	毎年度、図書購入費を増額し、購入図書数を増やすとともに、利用者の要望に応える選書を行うことで、年間貸出冊数の増加を目標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)利用者からのリクエストにはできるだけ応じ、流行にも敏感に反応しながら選書を行いました。利用者の様々な要望に応えられるように努めました。
進行上の課題や問題点	(R3)利用者からのリクエストにはできるだけ応じることで、図書館として選書を行う購入費が厳しくなった。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	図書館	係	
担当者	山本 美幸、藤原 弘樹		直通	24-4710	内線	

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	⑤42. 子どもの読書環境の充実				
②事業No. 事業名	200. ブックスタート(11か月検診時)、学校図書指導員配置事業、学校配本・幼保配本				事業実施期間	R3	~	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

家庭における絵本のある子育てを推進することを目的として、保健センターで行われる11か月健診において、赤ちゃん絵本のプレゼントを行っています。学校図書指導員配置事業が行われることにより市立図書館と学校図書館の連携が図られる。また学校配本、幼保配本により子どもの読書環境が充実する。子どもの読書環境が充実することは、子どもたちへ質の高い教育をあたえることに繋がる。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	①ブックスタート・絵本のプレゼント ②学校図書指導員配置 ③学校配本・幼保配本	①350,000 ②600,000	①575人②1200回③18校配本、17幼稚園等配本	
	実績	①ブックスタート・絵本のプレゼント ②学校図書指導員配置 ③学校配本・幼保配本	①350,000 ②289,500	①552人②579回③18校配本、17幼稚園等配本	
	達成度			81 %	
	達成度(R3年度~R7年度累積)			16 %	
R4	計画	①ブックスタート・絵本のプレゼント 24回予定 ②学校図書指導員配置 1200回③学校配本・幼保配本 18校配本 17幼稚園等配本	①350,000 ②600,000	①507人②1200回③18校配本、17幼稚園等配本	
	実績	①ブックスタート・絵本のプレゼント 24回 ②学校図書指導員配置 774回 ③学校配本・幼保配本 18校配本 18幼稚園等配本	①316,470 ②387,000	①508人②774回③18校配本、17幼稚園等配本	
	達成度			88 %	
	達成度(R3年度~R7年度累積)			34 %	
R5	計画	①ブックスタート・絵本のプレゼント ②学校図書指導員配置 ③学校配本・幼保配本	①350,000 ②600,000	①588人②1200回③18校配本、17幼稚園等配本	
	実績				
	達成度			%	
	達成度(R3年度~R7年度累積)			%	
R6	計画	①ブックスタート・絵本のプレゼント ②学校図書指導員配置 ③学校配本・幼保配本	①350,000 ②600,000	①588人②1200回③18校配本、17幼稚園等配本	
	実績				
	達成度			%	
	達成度(R3年度~R7年度累積)			%	
R7	計画	①ブックスタート・絵本のプレゼント ②学校図書指導員配置 ③学校配本・幼保配本	①350,000 ②600,000	①588人②1200回③18校配本、17幼稚園等配本	
	実績				
	達成度			%	
	達成度(R3年度~R7年度累積)			%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

毎年度、11か月健診時に絵本のプレゼント、定期的な学校への司書派遣

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	年間貸出冊数	416,000冊
R3	実績 年間貸出冊数	390,554冊
R4	実績 年間貸出冊数	380,558冊
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	ブックスタート事業・定期的な学校への司書派遣等により、図書への興味関心を高め、図書館の利用につなげることによって、年間貸出冊数の増加を目標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)学校との連携を深め、学校図書館の現状把握に努めた。
進行上の課題や問題点	(R3)学校より貸出を希望される本が重なり、希望に応えられない場合があり、市立図書館として児童書の充実。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	図書館	係
担当者	山本 美幸、荒木 順子		直通	24-4710	内線

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	⑤43. 読書ボランティアへの支援とネットワーク強化①				
②事業No.事業名	201. 子どもの読書環境の充実(おはなし会等)、読書ボランティアの養成と支援				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

新型コロナウイルス感染対策をしながら「ミニおはなし会」を開催し、子どもの身近な場所で本と出会う環境作りに務めた。本と出会う場を提供することにより子どもの読書環境の推進を図った。子どもの読書環境を整える担い手である読書ボランティアとの連携を図り「ミニおはなし会」の協力を仰ぎ読書ボランティアの支援に務めた。読書環境を整えることは、子どもたちへ質の高い教育をあたえることに繋がる。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	「ミニおはなし会」の開催	70,500	141回	
	実績	「ミニおはなし会」の開催(新型コロナウイルス感染対策のため中央館のみ開催)	13,500	27回	
		達成度		19.1 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		3.8 %	
R4	計画	「ミニおはなし会」の開催	70,500	141回	
	実績	「ミニおはなし会」の開催(新型コロナウイルス感染対策のため中央館のみ開催)	23,500	49回	
		達成度		35 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		10.8 %	
R5	計画	「ミニおはなし会」の開催	70,500	141回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	「ミニおはなし会」の開催	70,500	141回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	「ミニおはなし会」の開催	70,500	141回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	市立図書館中央館において毎週土曜日に定期的に「ミニおはなし会」を開催
------------------------	------------------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	市立図書館中央館において毎週土曜日に定期的に「ミニおはなし会」を開催	中央館「ミニおはなし会」50回開催 参加者 400人(1回当たり8人)
R3	実績 市立図書館中央館において「ミニおはなし会」	「ミニおはなし会」27回開催 参加者 164人
R4	実績 市立図書館中央館において「ミニおはなし会」	「ミニおはなし会」49回開催 参加者 265人
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	市立図書館中央館において毎週土曜日に定期的に開催している「ミニおはなし会」の開催回数及び参加者数を成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	図書館	係
担当者	山本 美幸、荒木 順子		直通	24-4710	内線

①整理番号	章	4	節	2	具体的施策No. 施策名	⑤43. 読書ボランティアへの支援とネットワーク強化②					
②事業No.事業名		202. 読書ボランティアのネットワーク化			事業実施期間	R3	～	R7			
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)											

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

図書館ボランティア協議会・学校ボランティアなどの多くのボランティアの協力で、市立図書館の「ミニおはなし会」や学校での読み聞かせが継続的に行われています。この体制が維持できるように、講座等を開催し新たなボランティアの育成や技能向上のため、支援を行う。またボランティアの主催事業開催などへ後援を行う。子どもの読書活動の推進にはボランティアの協力は不可欠であり、各関係機関、団体、学校などが連携して、社会全体で支援するネットワークが必要である。子どもたちへ質の高い教育をあたえることに繋がる。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	①図書館ボランティア養成に係る講座 ②図書館ボランティア会員の交流に係る研修の開催 ③「かめおっこ 夢・未来 読書プラン推進会議」の開催	③10,000	①1回②1回③2回
	実績	「かめおっこ 夢・未来 読書プラン推進会議」の開催 2回	③ 8,000	①0回②0回③2回
			達成度	33.3 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	6.7 %	
R4	計画	①図書館ボランティア養成に係る講座 ②図書館ボランティア会員の交流に係る研修の開催 ③「かめおっこ 夢・未来 読書プラン推進会議」の開催	③10,000	①1回②1回③2回
	実績	「かめおっこ 夢・未来 読書プラン推進会議」の開催 2回	③ 8,000	①0回②0回③2回
			達成度	33.3 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)	13.3 %	
R5	計画	①図書館ボランティア養成に係る講座 ②図書館ボランティア会員の交流に係る研修の開催 ③「かめおっこ 夢・未来 読書プラン推進会議」の開催	③10,000	①1回②1回③2回
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%	
R6	計画	①図書館ボランティア養成に係る講座 ②図書館ボランティア会員の交流に係る研修の開催 ③「かめおっこ 夢・未来 読書プラン推進会議」の開催	③10,000	①1回②1回③2回
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%	
R7	計画	①図書館ボランティア養成に係る講座 ②図書館ボランティア会員の交流に係る研修の開催 ③「かめおっこ 夢・未来 読書プラン推進会議」の開催	③10,000	①1回②1回③2回
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)	%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	毎年度、図書館ボランティア養成に係る講座1回開催、図書館ボランティア会員の交流に係る研修を1回開催、「かめおっこ 夢・未来 読書プラン推進会議」の2回開催等の開催実績
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	図書館ボランティア養成に係る講座、図書館ボランティア会員の交流に係る研修、「かめおかつこ 夢・未来 読書プラン推進会議」を定例的に開催し、図書館ボランティアの10人増加を期間を通じた目標とする。(令和2年度実績:9団体 のべ84人)	図書館ボランティア10人増加
R3	実績 図書館ボランティアの減少(9団体 のべ80人)	図書館ボランティア4人減少
R4	実績 図書館ボランティアの減少(9団体 のべ67人)	図書館ボランティア13人減少
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	図書館ボランティア養成に係る講座、図書館ボランティア会員の交流に係る研修、「かめおかつこ 夢・未来 読書プラン推進会議」を定例的に開催することにより、図書館ボランティアの人数増加を目標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	(R4) ・新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から講座や研修の実績を見送っていた。 ・ボランティアの減少について、新型コロナ感染症蔓延によるボランティア活動自粛の中、各々のとりまく環境の変化等により活動の継続が困難になった等の理由が考えられる。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	生涯スポーツ課	係	生涯スポーツ係
担当者	豊田 純己			25-5055	内線	2273

①整理番号	章	4	節	3	具体的施策No. 施策名	㊦ 44. 市民のスポーツ機会の充実				
②事業No.事業名	203. 幼児期・児童期から高齢者、障がい者のスポーツ機会創出事業				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

幼児から高齢者まで、そして障がいのある市民に対し、生涯にわたってスポーツに親しめるスポーツライフの実現に向けた「ふれあいスポーツ・デー」「屋外スポーツデー」等を実施します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	生涯スポーツ事業の開催	363,000	年13回	
	実績	生涯スポーツ事業の開催	156,611	5回	
		達成度		38.5 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		7.7 %	
R4	計画	生涯スポーツ事業の開催	1,229,000	年12回	
	実績	生涯スポーツ事業の開催	1,183,280	年11回	
		達成度		91.7 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		26 %	
R5	計画	生涯スポーツ事業の開催	309,000	年13回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	生涯スポーツ事業の開催		年12回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	生涯スポーツ事業の開催		年13回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	毎年度開催することとしている生涯スポーツ事業「ふれあいスポーツ・デー」「屋外スポーツデー」の開催実績を、定量的な活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	生涯スポーツ事業参加者数	1,000人以上
R3	実績 生涯スポーツ事業参加者数	197人
R4	実績 生涯スポーツ事業参加者数	598人
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの市民に生涯スポーツ事業「ふれあいスポーツ・デー」「屋外スポーツデー」へ参加していただくことが必要であると考え、参加者数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	(R3) コロナ禍の影響を受けやすい。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	生涯スポーツ課	係	生涯スポーツ係
担当者	村瀬 宏章			25-5055	内線	2272

①整理番号	章	4	節	3	具体的施策No. 施策名	② 45. スポーツ大会・イベントなどの開催及び支援①		
②事業No.事業名	204.社会体育施設の整備・充実事業				事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

「府立京都スタジアム」のフィールドをはじめ、クライミングウォール、VR・eスポーツのエリアや亀岡運動公園及び社会体育施設の施設の整備、拡充を進め、活用を図ります。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	社会体育施設等の利用促進にかかる広報誌等への周知回数	0	48回	
	実績	社会体育施設等の利用促進にかかる周知回数(広報誌・SNS等)	0	28回	
		達成度		58.3 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		11.7 %	
R4	計画	社会体育施設等の利用促進にかかる周知回数(広報誌・SNS等)	0	48回	
	実績	社会体育施設等の利用促進にかかる周知回数(広報誌・SNS等)	66,000	156回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		31.7 %	
R5	計画	社会体育施設等の利用促進にかかる周知回数(広報誌・SNS等)	198,000	120回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	社会体育施設等の利用促進にかかる周知回数(広報誌・SNS等)		120回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	社会体育施設等の利用促進にかかる周知回数(広報誌・SNS等)		120回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	より多くの市民に利用していただくことが必要であると考え、周知件数を定量的な成果指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	社会体育施設等の利用者数	80,000人
R3	実績 社会体育施設等の利用者数	52,305人
R4	実績 社会体育施設等の利用者数	59,382人
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの市民に利用していただくことが必要であると考え、施設利用者数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R4)市のSNSへの記事投稿の際に、現在の利用者のニーズに合わせた内容となるよう見直しを行った。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	(R4)調書作成時には「ふれあいスポーツ・デー」の広報誌や市SNSへの投稿数を指標値としていたが、公式LINE「わがまちサンガ応援隊」を設立したことにより、「京都府立スタジアム」への利用促進等を独自で発信し、周知できる回数が増えたため、指標値を大幅に増やした。(わがまちLINE 月8回×12カ月=96回、市LINE ふれあいスポーツ・デー 2か月に1回×6カ月=6回、市LINE サンガホームゲーム 17試合、その他 ホームタウンデー等 :計 120回)
その他	(R4)R4年度の実績が156回に対して、次年度以降の指標値が120回である理由としては、1カ月にLINE記事を配信できる数に限り(1通記事配信=登録者数分の通数を消費)があるため、登録者数が伸びれば、配信できる数も減るため、登録者数の伸びを見ながら、より効果的な頻度での配信を目指します。

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	生涯スポーツ課	係	生涯スポーツ係
担当者	豊田 純己			25-5055	内線	2273

①整理番号	章	4 6	節	3 3	具体的施策No. 施策名	② 45. スポーツ大会・イベントなどの開催及び支援② ① 15. スポーツ観光の推進①				
②事業No.事業名	205.273.スポーツフェスティバル・京都亀岡ハーフマラソン大会などの開催及びイベント支援事業				事業実施期間	R3		～	R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	補助:スポーツ振興くじ (toto)助成(80%)		国補助率	-		府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 持続可能な消費と生産	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
-----------	----------------	--------------	---------------	-----------------	-----------------	----------------------	--------------	-------------------	-----------------	------------------	----------------	-----------------	--------------	--------------	-----------------	----------------------

⑦事業の概要及び目的

スポーツフェスティバルや京都亀岡ハーフマラソン大会など、スポーツイベントの開催により、スポーツと本市の豊かな自然や観光、食などの地域資源を結びつけ、健康づくりはもとより、交流活動やにぎわいづくりを推進します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組		事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	①スポーツフェスティバルの開催 ②京都亀岡ハーフマラソン大会の開催	9,700,000	①1回 ②1回
	実績	①スポーツフェスティバルの開催 ②京都亀岡ハーフマラソン大会の開催	36,850	①0回 ②0回
		達成度		0 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		0 %
R4	計画	①スポーツフェスティバルの開催 ②京都亀岡ハーフマラソン大会の開催	9,700,000	①1回 ②1回
	実績	①スポーツフェスティバルの開催 ②京都亀岡ハーフマラソン大会の開催	9,700,000	①1回 ②1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R5	計画	①スポーツフェスティバルの開催 ②京都亀岡ハーフマラソン大会の開催	9,700,000	①1回 ②1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	①スポーツフェスティバルの開催 ②京都亀岡ハーフマラソン大会の開催		①1回 ②1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	①スポーツフェスティバルの開催 ②京都亀岡ハーフマラソン大会の開催		①1回 ②1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 毎年度開催することとしている「スポーツフェスティバル」「京都亀岡ハーフマラソン大会」の開催実績を、定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	①スポーツフェスティバル ②京都亀岡ハーフマラソン大会の参加人数	① 1,000人以上 ② 4,000人以上
R3	実績 ①スポーツフェスティバル ②京都亀岡ハーフマラソン大会の参加人数	① 0人 ② 0人 コロナウイルス感染症対策の為中止
R4	実績 ①スポーツフェスティバル ②京都亀岡ハーフマラソン大会の参加人数	① 928人 ② 5,000人 (大会全体参加者)
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの市民に参加していただくことが必要であると考え、来場者数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	(R3)コロナ禍の影響を受けやすい。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	生涯スポーツ課	係	生涯スポーツ係
担当者	豊田 純己			25-5055	内線	2273

①整理番号	章	4	節	3	具体的施策No. 施策名	② 46. 京都サンガF.C.との連携				
②事業No.事業名	206.幼児期・児童期から高齢者、障がい者との交流事業				事業実施期間	R3 ~ R7				
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-		府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

ホームタウンである亀岡市をにぎわいのあるまちにするため、選手による学校訪問や地域の開催事への参加など、「する・みる・支える」といった多様なスポーツ活動を京都サンガF.C.とともに推進していきます。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	サンガつながり隊の実施	15,000	10回	
	実績	サンガつながり隊の実施	0	3回	
		達成度			30 %
		達成度(R3年度~R7年度累積)			6 %
R4	計画	サンガつながり隊の実施	15,000	10回	
	実績	サンガつながり隊の実施	0	2回	
		達成度			20 %
		達成度(R3年度~R7年度累積)			10 %
R5	計画	サンガつながり隊の実施		10回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度~R7年度累積)			%
R6	計画	サンガつながり隊の実施		10回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度~R7年度累積)			%
R7	計画	サンガつながり隊の実施		10回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度~R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

「サンガつながり隊」の開催実績を、定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	サンガつながり隊に参加した児童数	1,000人以上
R3	実績 サンガつながり隊に参加した児童数	429人
R4	実績 サンガつながり隊に参加した児童数	141人
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの児童の参加が必要であると考え、参加者数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	(R3)コロナ禍の影響を受けやすい。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	生涯スポーツ課	係	生涯スポーツ係
担当者	村瀬 宏章			25-5055	内線	2272

①整理番号	章	4 6	節	3 3	具体的施策No. 施策名	② 47.「亀岡まるごとスタジアム構想」の策定と推進① ① 16「亀岡まるごとスタジアム構想」の策定と推進①		
②事業No.事業名	207.275.「かめおかまるごとスタジアム構想」の策定事業				事業実施期間	R3	～	R3
③新規・継続	継続	④事業区分	補助		国補助率	100%	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

亀岡の豊かな自然の中で、多様なスポーツやアクティビティ(山や川などの自然を生かしたアウトドア体験型レクリエーション)を体験することのできる環境を整備するため、「亀岡まるごとスタジアム構想」を策定します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	構想の策定	4,000,000	策定	
	実績	構想の策定完了	4,000,000	策定完了	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			20 %
R4	計画				
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R5	計画				
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画				
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画				
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	構想の策定	策定
R3	実績 構想の策定完了	策定完了
R4	実績	
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		100%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	生涯スポーツ課	係	生涯スポーツ係
担当者	豊田 純己			25-5055	内線	2273

①整理番号	章	4 6	節	3 3	具体的施策No. 施策名	② 47「亀岡まるごとスタジアム構想」の策定と推進② ① 16.「亀岡まるごとスタジアム構想」の策定と推進②				
②事業No.事業名		208.276.「かめおかまるごとスタジアム構想」の実現に向けた事業			事業実施期間	R3		～ R7		
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	-		府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

「亀岡まるごとスタジアム構想」の推進を通じて、市民の健康増進、体力増強など、生活の質の向上を図るとともに、スタジアムがあるまちとして、市民や子どものシビックプライドを育みます。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	計画策定中のためなし	-	-	
	実績	シビックプライド醸成プロジェクト	680,000	18校	
		達成度		28.2 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		5.6 %	
R4	計画	シビックプライド醸成プロジェクト	680,000	18校	
	実績	シビックプライド醸成プロジェクト	1,394,330	18校	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		25.6 %	
R5	計画	シビックプライド醸成プロジェクト	3,381,040	18校	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	シビックプライド醸成プロジェクト		18校	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	シビックプライド醸成プロジェクト		18校	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 毎年度実施する「シビックプライド醸成プロジェクト」(小学生のスタジアム体験イベント)の実施校数を定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	参加生徒へのアンケートによる「また行きたい」の割合	90%以上
R3	実績 計画策定中のためなし	-
R4	実績 参加生徒へのアンケートによる「また行きたい」の割合	90%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの子どもの事業に対する理解度、満足度が高くなければならないと考え、アンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/係	室・部	産業観光部	課	商工観光課	係	観光振興係
担当者	渡部 健太郎			25-5034	内線	3115

①整理番号	章	4 6	節	3 3	具体的施策No. 施策名	②47.「亀岡まるごとスタジアム構想」の策定と推進 ①13. 体験・滞在型観光の推進				
②事業No.事業名	209.269.体験・滞在型観光推進事業				事業実施期間	R3 ~				
③新規・継続	継続	④事業区分	補助		国補助率	-		府補助率	1/2	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 家族を なぐさ 	2 地球を ゼロに 	3 すべての人に 健康と福祉を 	4 質の高い教育を みんなに 	5 ジェンダー平等を 実現しよう 	6 安全な水とトイレ を世界中に 	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	8 働きがいも 経済成長も 	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 	10 人々の平等を もたせよう 	11 住み続けられる まちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任 	13 気候変動に 具体的な対策を 	14 海の豊かさを 守ろう 	15 陸の豊かさも 守ろう 	16 平和と公正を すべての人に 	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
---------------------	---------------------	---------------------------	--------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------------	-------------------------	------------------------------	---------------------------	-----------------------------	--------------------------	----------------------------	-------------------------	-------------------------	----------------------------	---------------------------------

⑦事業の概要及び目的

<p>令和4年4月にオープンする川の駅・亀岡水辺公園を中心に、体験型、滞在型観光を進め、地域資源の活用や積極的なPRにより、観光推進に取り組みます。</p>
--

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	川の駅・亀岡水辺公園施設整備	8,118,000	①指定管理事業者の決定 ②東屋、倉庫の整備	
	実績	川の駅・亀岡水辺公園施設整備	16,390,000	①指定管理事業者の決定 ②東屋、倉庫の整備	
			達成度	100 %	
			達成度(R3年度~R7年度累積)	20 %	
R4	計画	川の駅・亀岡水辺公園管理開園日数	5,000,000	350日	
	実績	川の駅・亀岡水辺公園管理開園日数	4,500,000	359日	
			達成度	100 %	
			達成度(R3年度~R7年度累積)	40 %	
R5	計画	川の駅・亀岡水辺公園管理開園日数	4,410,000	350日	
	実績				
			達成度	%	
			達成度(R3年度~R7年度累積)	%	
R6	計画	川の駅・亀岡水辺公園管理開園日数		350日	
	実績				
			達成度	%	
			達成度(R3年度~R7年度累積)	%	
R7	計画	川の駅・亀岡水辺公園管理開園日数		350日	
	実績				
			達成度	%	
			達成度(R3年度~R7年度累積)	%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	当施設の管理運営により、継続的な誘客を見込むため。
------------------------	---------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	①年間観光入込客数 ②年間観光消費額	①2,400,000人 ②70億円
R3	実績 ①年間観光入込客数 ②年間観光消費額	①1,590,905人 ②42.7億円
R4	実績 ①年間観光入込客数 ②年間観光消費額	①2,326,370人 ②63.7億円
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組は観光誘客及び観光消費による地域経済等の活性化を目的とするものである。また、地域観光振興を図る上では本施設だけではなく、地域への周遊、波及が求められるものであり市内全体における観光入込客数及び観光消費額を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R4)民間ノウハウを活かした効率的かつ効果的な事業実施を図るべく、指定管理制度を導入した。
進行上の課題や問題点	(R3)観光産業は、新型コロナウイルスの影響を最も受けた産業の1つであり、本市においても観光入込客数及び観光消費額ともに大きく落ち込みを見せた。今後、しばらくの間は、新型コロナウイルスと向き合いながらの対応にならざるを得ず、一気にV字回復を見込むことは現実的に厳しいところである。そのため、令和2年度をベースとして、令和7年度にはその50%増を成果指標として採用するものである。 (R4)河川を活用した事業であり、利用者の安全確保について特に留意する必要がある。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	文化国際課	係	文化国際係
担当者	久保 拓也			55-9655	内線	2252

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	①48. 文化芸術にふれる機会の充実と活動の支援				
②事業No.事業名	210. 文化振興事業				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	50%	府補助率	50%			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

市民が身近に文化芸術にふれられる機会や創作活動を体験できる場を創出できる場を創出するとともに、文化芸術活動を発表できる場の創出や情報発信を支援します。また、「かめおか霧の芸術祭」をハブにあらゆる分野の団体や活動と連携しながら、芸術の創造性を活かして魅力あるまちづくりを推進します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	かめおか霧の芸術祭と市役所内の関係課との連携数	21,000,000	7課
	実績	かめおか霧の芸術祭と市役所内の関係課との連携数	21,000,000	7課
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	かめおか霧の芸術祭と市役所内の関係課との連携数	21,000,000	9課
	実績	かめおか霧の芸術祭と市役所内の関係課との連携数	21,000,000	9課
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	かめおか霧の芸術祭と市役所内の関係課との連携数	21,000,000	10課
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	かめおか霧の芸術祭と市役所内の関係課との連携数	21,000,000	11課
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	かめおか霧の芸術祭と市役所内の関係課との連携数	21,000,000	12課
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	かめおか霧の芸術祭 × X を拡大し、より幅広い市民の認知度向上を図るため、市役所内各課との連携を広げることが活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標(アウトカム指標)

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	かめおか霧の芸術祭への参加者数	参加者15,000人
R3	実績 かめおか霧の芸術祭への参加者数	参加者10,364人
R4	実績 かめおか霧の芸術祭への参加者数	参加者18,176人
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標(アウトカム指標)の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの人にかめおか霧の芸術祭の取り組みに参加していただくことが必要であるため、来場者数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	文化資料館	係	
担当者	飛鳥井 拓・立脇 玄貴		直通	0771-22-0599	内線	

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	②49.文化資料館における体験機会・広報の充実				
②事業No.事業名	211.文化資料館展示事業				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	補助事業	国補助率	1/2	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

亀岡の奥深い魅力を知ってもらうために、資料館機能の維持を図りながら、常設展や企画展・特別展の開催や、従来の文字解説だけでなく、展示と来館者を効果的に結びつけるコミュニケーションツールとしての映像コンテンツの導入を行い、情報発信の充実に図ります。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組			事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	展示会(特別展第36回、第37回、企画展第69回)及びロビー展(6回:アユモドキ展、五月人形展、明智光秀展、戦争平和展、亀岡祭展、ひなまつり展)の開催	10,067,000円	年9回	
	実績	展示会(特別展第36回、第37回、企画展第69回)及びロビー展(6回:アユモドキ展、カイコ飼育展、戦争平和展、亀岡祭展、作品展、ひなまつり展)を実施	5,692,713円	年9回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	展示会(特別展第38回、企画展第70回、71回)及びロビー展(6回:アユモドキ展、五月人形展、明智光秀展、戦争平和展、亀岡祭展、ひなまつり展)の開催	10,101,000円	年9回	
	実績	展示会(特別展第38回、企画展第70回、71回)及びロビー展(6回:アユモドキ展、五月人形展、明智光秀展、戦争平和展、亀岡祭展、ひなまつり展)、テーマ展(荒賀龍太郎展)の実施	7,531,627円	年10回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %	
R5	計画	展示会(特別展第39回、企画展第72回)及びロビー展(6回:アユモドキ展、五月人形展、明智光秀展、戦争平和展、亀岡祭展、ひなまつり展)の開催	3,776,000円	年8回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	展示会及びロビー展の開催		年9回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	展示会及びロビー展の開催		年9回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

様々なテーマで展示会を数多く開催することで、幅広い客層にアプローチでき情報発信の充実に繋がる。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	文化資料館来館者数(有料入館者+無料入館者)	35,000人
R3	実績 文化資料館来館者数(有料入館者2,543人+無料入館者4,323人)	6,866人
R4	実績 文化資料館来館者数(有料入館者2,382人+無料入館者4,468人)	6,850人
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	展示の回数や内容が充実することで、来館者数の増加に繋げたい。
-----------------------	--------------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	文化資料館	係	
担当者	飛鳥井 拓・澤田 一輝		直通	0771-22-0599	内線	

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	②50.文化資料館における調査研究・普及活動の充実①				
②事業No.事業名	212.資料公開事業				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

亀岡地域の文化財に関する調査研究を進めるとともに、地域で活動する市民団体などと連携し、まち歩きなど、身近な歴史や亀岡の魅力にふれる機会の充実を図る。さらに歴史や文化を体験できる新しい展示手法の充実を図る。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	資料公開を年3回行う。	4,940,000円	年3回	
	実績	資料公開を年3回(第49回～第51回)開催した。	4,935,991円	年3回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	資料公開を年3回行う。	5,103,000円	年3回	
	実績	資料公開を年3回(第52回～第54回)開催した。	5,098,000円	年3回	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %	
R5	計画	資料公開を年3回行う。	5,180,000円	年3回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	資料公開を年3回行う。		年3回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	資料公開を年3回行う。		年3回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	資料整理をすすめて、資料公開を継続していくことが歴史資料の活用に繋がる。
------------------------	--------------------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	館内資料利用申請件数 50件、資料閲覧申請件数 10件、出版物掲載申請件数 50件	110件
R3	実績 館内資料利用申請件数 27件、資料閲覧申請件数 12件、出版物掲載申請件数 28件	67件
R4	実績 館内資料利用申請件数 32件、資料閲覧申請件数 12件、出版物掲載申請件数 17件	61件
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	資料整理や資料公開をすすめることによって、所蔵資料の利用件数が増加する。それが利用者の亀岡の歴史文化への理解の深まりに繋がる。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	文化資料館	係
担当者	飛鳥井拓・澤田一輝		直通	0771-22-0599	内線

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	②50.文化資料館における調査研究・普及活動の充実②					
②事業No.事業名		213.体験会講演会および出前授業等普及啓発事業			事業実施期間	R3	～	R7			
③新規・継続		継続	④事業区分		補助事業(親子体験会のみ)	国補助率	-	府補助率	10/10		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)											

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

文化資料館の利用や亀岡に関する歴史文化的な啓発活動を、文化資料館の利用だけでなく、多くの個人や団体との連携や協力事業を進め、小中学校、高等学校への出前授業も含めて、館外での出張講座を充実します。それによりできるだけ多くの人たちにふるさと亀岡の魅力を知らせていただきます。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	館外での講座数(出前授業、出張講座)	300,000円	年50回	
	実績	館外での講座数(出前授業4件、出張講座21件、親子体験会2件、歴史講座会1件)	300,000円	年28回	
		達成度			56%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			11.2%
R4	計画	館外での講座数(出前授業、出張講座)	262,500円	年50回	
	実績	館外での講座数(出前授業15件、出張講座37件、親子体験会2件)	262,500円	年54回	
		達成度			100%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			28.9%
R5	計画	館外での講座数(出前授業、出張講座)	300,000円	年50回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	館外での講座数(出前授業、出張講座)		年50回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	館外での講座数(出前授業、出張講座)		年50回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	文化資料館の利用にとどまらず、各関係機関と連携、協力した館外での授業・講座の実施機会の充実を活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	出前授業や出張講座、オンライン配信など来館以外での利用者数	3500人
R3	実績 出前授業や出張講座、オンライン配信など来館以外での利用者数	713人
R4	実績 出前授業や出張講座、オンライン配信など来館以外での利用者数	1,219人
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業達成のためには、できるだけ多くの人に亀岡の歴史文化に触れてもらい、魅力を知ってもらう必要があり、館外での出前授業や出張講座、オンライン配信の利用者数を成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	産業観光部	課	農林振興課	係	有機・食農推進係
担当者	川勝 美咲			直通	内線	3154

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	②51. 食文化の伝承①					
②事業No.事業名	214.おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾				事業実施期間	R3 ~ R7					
③新規・継続	継続	④事業区分	補助		国補助率	1/2	府補助率	-			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)											

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

亀岡でこれまで受け継がれてきた伝統行事とそれまつわる食文化を絶やすことなく伝承し、「ふるさと亀岡」の良さをより多くの方に知っていただくために「おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾」を開催します。忙しい現代の生活スタイルの中で形骸化してきた伝統的な暮らしの良さを再認識し、健康で生きがいのある生活を支援する取り組みの一環として開催します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組		事業費(円)	(活動)指標値		
R3	計画	「おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾」の開催(年4回)	270,200	年4回	
	実績	(新型コロナウイルス感染防止のため未開催)		0	0回
		達成度		0 %	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		0 %	
R4	計画	「おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾」の開催(年4回)	270,200	年4回	
	実績	「おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾」の開催(年4回)		265,827	年4回
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		20 %	
R5	計画	「おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾」の開催(年4回)	275,675	年4回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%	
R6	計画	「おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾」の開催(年4回)		年4回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%	
R7	計画	「おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾」の開催(年4回)		年4回	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	より多くの方に参加していただけるよう春、夏、秋、冬と季節や食材を変えて、年4回開催することを目標とします。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	参加者アンケート結果による「とてもよかった」の割合	80%以上
R3	実績 (新型コロナウイルス感染防止のため、未開催)	0%
R4	実績 参加者アンケート結果による「とてもよかった」の割合	80%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	これまで受け継がれてきた伝統行事や行事食を絶やすことなく、受け継いでいくためにはより多くの方に参加していただき、「ふるさと亀岡」の良さを伝えていくことが大切であると考えます。参加者の満足度が事業の目的達成の指標となると考え、アンケート結果による「とてもよかった」の割合を成果指標とします。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	産業観光部	課	農林振興課	係	食農ブランド係
担当者	川勝 美咲			直通	25-5036	内線 3153

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	②51.食文化の伝承②				
②事業No.事業名	215.地元産食材利用推進事業				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	補助		国補助率	1/2	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

亀岡市元気農業プランを踏まえた取り組み。小学校及び保育所・こども園の給食に安全・安心な地元産農産物等を供給することで、地産地消を推進するとともに、地域の農業や食文化への関心を高め、健康づくりにつなげることを目的とする。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	地元産食材利用助成の実施	975,000	助成件数(学校給食センター) 1件 助成件数(市立保育所・こども園) 8件	
	実績	地元産食材利用助成の実施	959,419	助成件数(学校給食センター) 1件 助成件数(市立保育所・こども園) 8件	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %	
R4	計画	地元産食材利用助成の実施	975,000	助成件数(学校給食センター) 1件 助成件数(市立保育所・こども園) 8件	
	実績	地元産食材利用助成の実施	975,000	助成件数(学校給食センター) 1件 助成件数(市立保育所・こども園) 8件	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %	
R5	計画	地元産食材利用助成の実施	975,000	助成件数(学校給食センター) 1件 助成件数(市立保育所・こども園) 8件	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R6	計画	地元産食材利用助成の実施		助成件数(学校給食センター) 1件 助成件数(市立保育所・こども園) 8件	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	
R7	計画	小学校及び保育所・こども園に対する地元産食材利用助成を引き続き実施し、助成件数を維持することを活動指標とする。		助成件数(学校給食センター) 1件 助成件数(市立保育所・こども園) 8件	
	実績				
		達成度		%	
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	小学校及び保育所・こども園に対する地元産食材利用助成を引き続き実施し、助成件数を維持することを活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	小学校給食の野菜(9品目※)・米における地元産農産物の割合 ※玉葱、メークイン、キャベツ、青ねぎ 小松菜、ほうれん草、人参、白菜、大根	50%以上
R3	実績 小学校給食の野菜(9品目)・米における地元産農産物の割合	57.9%
R4	実績 小学校給食の野菜(9品目)・米における地元産農産物の割合	51.0%
R5	実績 小学校給食の野菜(9品目)・米における地元産農産物の割合	
R6	実績 小学校給食の野菜(9品目)・米における地元産農産物の割合	
R7	実績 小学校給食の野菜(9品目)・米における地元産農産物の割合	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業の目的を達成するためには、実際に一定量の地元産農産物等が給食に供給されることが求められる。よって、地元産食材利用助成を実施した結果、学校給食センターが提供する小学校給食において使用された地元産農産物等の割合を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	歴史文化財課	係	
担当者	土井 孝則・飛鳥井 拓		直通	0771-25-5068	内線	

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	②52.文化財指定による保護及び啓発活動①				
②事業No.事業名	216.文化財保護委員会運営事業				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

未指定文化財を市指定文化財に指定することによって文化財の安定的な保存を図るとともに、広報やホームページなどへの掲載による市民をはじめ多くの人々への広報活動などを通じて、文化財の一般公開や詳細調査の実施などの活用を進め、市内にある豊富な文化財を周知してもらえよう市内外への周知啓発を推進します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	市内所在の文化財の指定に向けて、文化財保護委員会を年3回開催する。	291,000	保護委員会の開催:年3回	
	実績	文化財保護委員会を年2回開催した。未指定の「絹本著色仏涅槃図」「亀山藩主形原松平家墓所」を市指定文化財に指定した。	126,100	2回	
		達成度			66 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			13 %
R4	計画	市内所在の文化財の指定に向けて、文化財保護委員会を年3回開催する。	291,000	保護委員会の開催:年3回	
	実績	文化財保護委員会を3回開催し、円通寺境内地にある「亀山城惣構跡(土塁)」を市指定文化財に指定した。	329,800	保護委員会の開催:年3回	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			33 %
R5	計画	市内所在の文化財の指定に向けて、文化財保護委員会を年3回開催する。	291,000	保護委員会の開催:年3回	
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画	市内所在の文化財の指定に向けて、文化財保護委員会を年3回開催する。			
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	市内所在の文化財の指定に向けて、文化財保護委員会を年3回開催する。			
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	亀岡市指定文化財の指定のためには、文化財保護委員会の適切な実施と協議が必要であることから、文化財保護委員会開催の回数を活動指標とします。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	文化財保護委員会で市内所在の未指定文化財について検討を行って市指定文化財に指定し、5年間で5件以上を市指定文化財に指定します。	指定件数5件
R3	実績 文化財保護委員会で市内所在の文化財について検討を行って2件を市指定文化財に指定しました。	指定件数2件
R4	実績 文化財保護委員会で市内所在の文化財について検討を行って1件を市指定文化財に指定しました。	指定件数1件
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、文化財保護委員会を開催して未指定文化財について検討を行い、未指定文化財を市指定文化財に指定した実績を活動指標とします。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	歴史文化財課	係	
担当者	大西 文孝		直通	0771-25-5068	内線	

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	②52.文化財指定による保護及び啓発活動②	
②事業No.事業名	217.文化財の普及啓発事業				事業実施期間	R3	~ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

未指定文化財を市指定文化財に指定することによって文化財の安定的な保存を図るとともに、広報やホームページなどへの掲載による市民をはじめ多くの人々への広報活動などを通じて、文化財の一般公開や詳細調査の実施などの活用を進め、市内にある豊富な文化財を周知してもらえるよう市内外への周知啓発を推進します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	新たに指定された文化財を広報誌やホームページ等で掲載	0	新規指定件数	
	実績	令和3年度に亀岡市指定文化財となった文化財2件をホームページに掲載した。	0	2件	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		20 %	
R4	計画	新たに指定された文化財を広報誌やホームページ等で掲載	0	新規指定件数	
	実績	令和3年度に亀岡市指定文化財となった文化財をホームページに掲載した。	0	1件	
		達成度		100 %	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		40 %	
R5	計画	新たに指定された文化財を広報誌やホームページ等で掲載	0	新規指定件数	
	実績		0		
		達成度		%	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%	
R6	計画	新たに指定された文化財を広報誌やホームページ等で掲載	0	新規指定件数	
	実績		0		
		達成度		%	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%	
R7	計画	新たに指定された文化財を広報誌やホームページ等で掲載	0	新規指定件数	
	実績		0		
		達成度		%	
		達成度(R3年度~R7年度累積)		%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 文化財の市民への普及啓発として、当該年度に指定した文化財の情報を広報誌やホームページに掲載することが重要であることから、新指定文化財のホームページ等への掲載の有無を指標とします。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	亀岡市指定文化財に関する行事やイベントの催行回数、及び修理の問い合わせ件数	10件
R3	実績 令和3年度に指定した宗教法人光忠寺「形原松平家墓所」について、地震に伴う修理の問い合わせがあった。	1件
R4	実績 令和3年度に指定した宗教法人光忠寺「形原松平家墓所」について、修理工事を実施した。	1件
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	亀岡市指定文化財の普及啓発によって、これら文化財に関するイベントや修理案件が増えることが、所有者や市民に文化財が広く周知されていることを示す成果指標となると考えます。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	歴史文化財課	係	文化財係
担当者	飛鳥井 拓		直通	0771-25-5068	内線	

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	②53. 地域の文化財の計画的な保存・活用①		
②事業No.事業名	218. 文化財保存活用地域計画作成事業				事業実施期間	R3	～	R4
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	100%	府補助率	0%	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

保存計画を策定し、資料調査や記録作成及び地域での保存・活用を支援することで、円山応挙に代表される亀岡ゆかりの人物の作品や関連資料、市内に所在する仏像・古文書などの文化財や、「亀岡祭」など地域で受け継がれる祭礼や伝統文化の次代への継承に努めます。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組			事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	亀岡市文化財保存活用地域計画に係る協議会を4回開催し、当該計画の内容に係る協議を経て計画の策定を進める。	6,460,000	協議会開催回数:4回	
	実績	亀岡市文化財保存活用地域計画に係る協議会を予定通り4回開催し、地域計画の策定を進めることができた。	6,460,000	協議会開催回数:4回	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			50 %
R4	計画	亀岡市文化財保存活用地域計画に係る協議会を2回開催し、当該計画を完成させる。	4,510,000	協議会開催回数:2回	
	実績	亀岡市文化財保存活用地域計画が12月に文化庁の認定を受けた。	4,510,000	協議会開催回数:3回	
		達成度			100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)			100 %
R5	計画				
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R6	計画				
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画				
	実績				
		達成度			%
		達成度(R3年度～R7年度累積)			%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

亀岡市文化財保存活用地域計画の作成に当たっては、観光協会や森の京都DMO等の関係団体、市の関連部署で構成される協議会での意見が重要となります。そのため、協議会開催の回数を完成に係る指標と位置づけます。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	亀岡市文化財保存活用地域計画に係る協議会で当該計画の内容について協議し、地域計画を完成させる。	亀岡市文化財保存活用地域計画の完成
R3	実績 亀岡市文化財保存活用地域計画に係る協議会を予定通り4回開催し、素案（第1版）を完成させた。	計画完成率40%
R4	実績 亀岡市文化財保存活用地域計画が12月に文化庁に認定を受けた	計画完成率100%
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業の成果は地域計画の完成であるため、計画の完成を成果指標とします
-----------------------	-------------------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	歴史文化財課	係	文化財係
担当者	大西 文孝			直通	0771-25-5068	内線

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	②53. 地域の文化財の計画的な保存・活用②				
②事業No. 事業名	219. 地域計画等活用推進事業				事業実施期間	R5	～	R7		
③新規・継続	新規	④事業区分	補助	国補助率	定額	府補助率	0			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

保存計画を策定し、資料調査や記録作成及び地域での保存・活用を支援することで、円山応挙に代表される亀岡ゆかりの人物の作品や関連資料、市内に所在する仏像・古文書などの文化財や、「亀岡祭」など地域で受け継がれる祭礼や伝統文化の次代への継承に努めます。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	実施なし 令和4年度に亀岡市文化財保存活用地域計画を策定した後で実施する予定		
	実績		達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R4	計画	実施なし 令和4年度に亀岡市文化財保存活用地域計画を策定した後で実施する予定		
	実績		達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R5	計画	令和4年度に策定した亀岡市文化財保存活用地域計画に基づき、計画推進協議会を2回開催する。	0	委員会の開催:2回
	実績		達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R6	計画	令和4年度に策定した亀岡市文化財保存活用地域計画に基づき、計画推進協議会を2回開催する。	0	委員会の開催:2回
	実績		達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%
R7	計画	令和4年度に策定した亀岡市文化財保存活用地域計画に基づき、計画推進協議会を2回開催する。	0	委員会の開催:2回
	実績		達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

令和4年度に亀岡市文化財保存活用地域計画の策定後は、亀岡市文化財保存活用地域計画に係る実行委員会を組織し、当該計画の進捗や効果についてチェックする予定であるため、この委員会の開催回数が計画の進捗を図る一つの指標と考えます。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	令和4年度に策定された亀岡市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の保存・活用事業を推進します。	計画に基づき実施された文化財保存・活用に係る措置の件数 (36件)
R3	実績 実施なし 令和4年度に亀岡市文化財保存活用地域計画を策定した後で実施する予定	—
R4	実績 実施なし 令和4年度に亀岡市文化財保存活用地域計画を策定した後で実施する予定	—
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	亀岡市文化財保存活用地域計画が市内所在文化財の保存・活用に対して有効に機能しているかを示す指標として、当該計画に掲載される措置の実現回数が有効と考えます。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	文化国際課	係	文化国際係
担当者	久保 拓也			直通	55-9655	内線 2252

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	③54.文化拠点のあり方の検討と推進				
②事業No.事業名	220.文化施設のあり方検討事業				事業実施期間	R3		～	R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-		府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

新資料館構想を踏まえた文化資料館と文化ホールなどの施設のあり方・設置について検討を進め、具体化を図ります。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	懇話会の開催、提言書の提出		懇話会開催年4回
	実績	亀岡市における文化施設のあり方を考える懇話会4回開催。提言書提出。		懇話会開催年4回
			達成度	100 %
			達成度(R3年度～R7年度累積)	20 %
R4	計画	ユース・ミーティング開催、小委員会開催、懇話会開催		各会議開催年6回(合計)
	実績	ユース・ミーティング開催(5月29日)、文化ホール小委員会(7月28日・9月26日)、文化資料館小委員会(8月2日・9月15日)、懇話会(11月22日)		各会議開催年6回(合計)
			達成度	100 %
			達成度(R3年度～R7年度累積)	40 %
R5	計画	新たな文化施設整備に向けた基礎調査業務の実施		基礎調査業務の実施
	実績			
			達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	60 %
R6	計画	新たな文化施設整備に向けた検討委員会の開催及び基本構想、基本計画の策定		検討委員会開催 年4回
	実績			
			達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	80 %
R7	計画	新たな文化施設整備に向けた基本設計業務の実施		基本設計業務の実施
	実績			
			達成度	%
			達成度(R3年度～R7年度累積)	100 %

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	新施設整備に向けた基本設計業務を行うために、基礎調査業務の実施と基本構想、基本計画策定のための検討委員会の開催を活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	新たな文化施設整備の計画的な実施	進捗率100%
R3	実績 懇話会の設置・開催	方向性の検討
R4	実績 小委員会の設置・開催	方向性の決定
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	新たな文化施設整備に向けた業務（基礎調査業務、基本構想、基本計画の策定、検討委員会の開催、基本設計業務等）に関して、令和7年度の業務進捗状況を100%とし、進捗率を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	歴史文化財課	係	文化財係
担当者	立脇玄貴・飛鳥井 拓		直通	0771-25-5068	内線	

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	③55. 歴史を学ぶ拠点の整備				
②事業No.事業名	221. 記念物保存修理事業				事業実施期間	R3	～	R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	補助/単独	国補助率	50%	府補助率	0%			
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

歴史文化を体験し学ぶ場として、亀岡が誇る国史跡「丹波国分寺跡」に礎石や基壇などの配置状況を明示して、解説板を設置するなどの公園整備を推進します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組		事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	史跡丹波国分寺跡整備検討委員会を2回程度開催し、整備案について検討します。	5,500,000	検討委員会の開催回数:2回
	実績	史跡丹波国分寺跡整備検討委員会を2回開催。来年度以降に着手する予定の史跡地内のサインに係る基本設計を検討・策定しました。	5,500,000	検討委員会の開催回数:2回
	達成度			100 %
達成度(R3年度～R7年度累積)			20 %	
R4	計画	史跡丹波国分寺跡整備検討委員会を年2回程度開催し、整備案について検討します。	24,400,000	検討委員会の開催回数:2回
	実績	史跡丹波国分寺跡整備検討委員会を年2回程度開催し、整備案について検討しました。	47,740,000	検討委員会の開催回数:2回
	達成度			100 %
達成度(R3年度～R7年度累積)			40 %	
R5	計画	史跡丹波国分寺跡整備検討委員会を年2回程度開催し、整備案について検討します。	26,950,000	検討委員会の開催回数:2回
	実績			
	達成度			%
達成度(R3年度～R7年度累積)			%	
R6	計画	史跡丹波国分寺跡整備検討委員会を年2回程度開催し、整備案について検討します。		
	実績			
	達成度			%
達成度(R3年度～R7年度累積)			%	
R7	計画	史跡丹波国分寺跡整備検討委員会を年2回程度開催し、整備案について検討します。		
	実績			
	達成度			%
達成度(R3年度～R7年度累積)			%	

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

史跡丹波国分寺跡整備を進めるうえで、整備検討委員会を開催し、整備案を検討することが必要である。その点からも、委員会の開催回数が整備進捗を評価する一つの指標となると考えます。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	史跡丹波国分寺跡整備検討委員会で検討した整備案を基に、年度ごとの環境整備工事を実施し、史跡公園を完成します。	工事の進捗状況
R3	実績 史跡丹波国分寺跡整備検討委員会で検討した整備案を基に今年度は経蔵跡と鐘楼跡の工事を実施しました。また、来年度以降に着手する予定の史跡地内のサインに係る基本設計を策定しました。	20%(鐘楼跡の工事完成)
R4	実績 史跡丹波国分寺跡整備検討委員会で検討した整備案を基に今年度は僧房跡の工事、各遺構跡の説明板設置、回廊の芝張りを実施しました。	40%(僧房跡の工事1カ年目完成)
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	史跡丹波国分寺跡整備の完成を目指すうえで、工事の進捗度が一つの重要な指標となると考えます。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	